

特集

住んでみて、 心に決めた “第2のふるさと”



もり
森林の仕事ガイダンス開催!

林業に就きたい人の総合相談

募集から就農・定着までステージに応じてサポート
日本各地で成果を上げる**JAの新規就農支援**

ここから始まるI・J・Uターン

経営者としてのの第一歩は ソリマチの農業簿記

独立や新規就農、はじめての経営「ドキドキ、ワクワク」
夢にあふれた担い手のみなさんを、ソリマチは応援しています



経営が見える化し、正しく申告することも
経営者の大切な仕事。ソリマチの農業簿記なら、
はじめての方でも**農業所得専用の決算書**を
かんたんに作成できます。

法令改正時にも迅速対応！**収入保険制度***や**消費税改正**も
ソリマチと一緒にらずっとあんしんです。

農業簿記10

※「収入保険制度」とは、政府が平成30年秋からの加入申請受付を目指している新しい保険制度です。
自然災害や価格低下による収益減少を広い品目で補てんされるのが特徴です。

プラスアルファの農業経営へ 6次産業化の強い味方！

経営に必要なのは帳簿付けだけではありません。
営農日誌、販売管理、従業員の給与計算など幅広く業務をサポート。



無料体験版 **まずはお試ください！** ソリマチHPよりダウンロードいただけます！
■CD-ROMでのご提供は下記までお問合せください

88 ソリマチ株式会社 www.sorimachi.co.jp TEL:03-5475-5301 FAX:03-5475-5353

■東京本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田3-18-6ソリマチ第8ビル 営業時間 9:00~17:30(土日祝日および弊社指定日を除く)
□新潟本社 □札幌ソリマチ □盛岡ソリマチ □さいたまソリマチ □名古屋ソリマチ □大阪ソリマチ □広島ソリマチ □熊本ソリマチ

- 02 **林業に就きたい人の総合相談
森林の仕事ガイド** 全国森林組合連合会
- 06 **募集から就農・定着までステージに応じてサポート
日本各地で成果を上げるJAの新規就農支援** 全国農業協同組合中央会
- 08 **特集 住んでみて、心に決めた“第2のふるさと”**
- 10 農業 **首都圏暮らしから心機一転就農へ! 「お試し移住」で理想のまち探し**
石川県七尾市 亀井 勉さん
- 12 林業 **移住先の林業学校で基礎を習得 山仕事は難しいからこそ面白い!**
高知県仁淀川町 相原 晋さん **表紙**
- 14 漁業 **手厚い移住者支援策により子供の頃から夢だった漁師への道を拓く**
福井県越前町 古田 涼さん
-
- 16 コラム **農園歳時記 第30回 もうひとつの自給自足** 中村 顕治
- 18 コラム **農業経営を志す人へ ~農業経営の発展過程と経営管理を考える~**
ステップ3 個人経営(経営と家計の分離の実践) 栃木県農業会議 高田 武
- 21 I・J・Uターナー農林漁業就業相談窓口

広告

- ソリマチ株式会社
- 19 公益財団法人 徳島県水産振興公害対策基金
公益財団法人 いしかわ農業総合支援機構/岩手県一関市
- 20 福島県
公益社団法人 大分県農業農村振興公社

iju info (イジュウ インフォ)

●配布場所

都道府県農業会議、青年農業者等育成センター、林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター、ハローワーク、ジョブカフェ、農林漁業関係学校、図書館、東京都内の駅の一部など全国4,000カ所

IJU

検索

雑誌オンライン

検索



林業に就きたい人の総合相談 森林の仕事ガイダンス

開催

「林業に興味がある」「森林で働きたい」
そんな希望を持つ全ての人を応援する「森林の仕事ガイダンス」が今年度も開催。
林業の仕事を知りたい、相談をしたいという人はぜひ参加しよう!

「森林の仕事ガイダンス」は、就業斡旋のためのガイダンスではありません。

- 入場無料
- 入退場自由
- 資格不問
- 履歴書不要
- 服装自由

●東京会場

2018年1月27日(土)
11:00 ~ 17:00
(最終入場 16:30)

品川インターシティ
ホール



JR品川駅より徒歩6分、京急品川駅より徒歩8分

●大阪会場

2018年2月3日(土)
11:00 ~ 17:00
(最終入場 16:30)

大阪マーチャングイズ・マート
Aホール



京阪電車「天満橋」駅東口、地下鉄谷町線「天満橋」駅北改札口から地下通路にて連絡

●名古屋会場

2018年2月10日(土)
11:00 ~ 17:00
(最終入場 16:30)

JPタワー名古屋
ホール&カンファレンス 3F



JR名古屋駅より徒歩1分

Step 1

林業に就きたい全ての人へ
総合的なガイダンスが開催!

林業に関する総合説明会・相談窓口となる「森林の仕事ガイダンス」が、東京・大阪・名古屋で開催される。「林業ってどんな仕事?」のように興味を持ち始めた人から「早く就業したい!」という意欲の強い人まで、林業に関心を持つ全ての人が対象だ。これをつかきに林業に就いた人も多いため、興味を持ったならまずは会場を訪れてみよう。

⑧集材・搬出

丸太を1か所に集める



⑦造材

間伐・伐採した木の枝を切り、規定の長さの丸太にする



⑥伐採(主伐)

利用可能な大きさになった樹木を切り倒す



⑤間伐

健全な森林にするため、またより良い木を育てるための間引き



森林作業のサイクル

優良な木を育てて出荷するのが林業という仕事。その内容は、このサイクルに示したことがメインとなる。他にも林道の整備や倒木の処理なども森林作業に含まれる。

①植え付け

整地した林地に、苗木を一定の間隔で植える



②下刈り

苗木の生育を妨げないよう周囲に生える雑草を刈る



③除伐

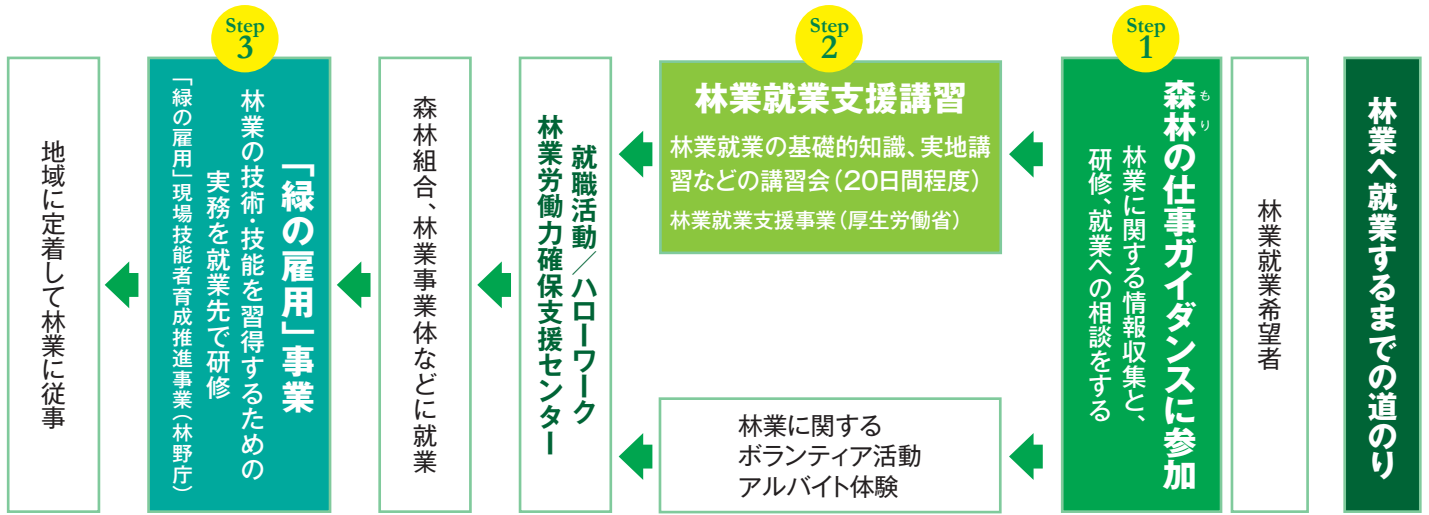
植えた木の成長を妨げるほかの樹木や、健全でない立木を取り除く



④枝打ち

上質な木を育てるために不要な枝を切り落とす





森林の仕事ガイダンスの歩き方

ガイダンスでできること①
オリエンテーションコーナーで林業の基礎を知ろう

会場に着いたら、まずはオリエンテーションコーナーで林業の基礎について学ぼう。分かりやすくまとめられた映像で、普段なかなか知ることのできない林業の仕事内容を伝えてくれる。



ガイダンスでできること②
トークショーで林業就業者の本音を聞こう

森林の仕事ガイダンスでは「緑の研修生」(5ページ参照)のトークショーを開催予定。実際に林業に就いている緑の研修生が、林業の魅力や驚いたことなどを本音で語ってくれるので、大いに参考になるはずだ。



ガイダンスでできること③
3つの相談ブースで疑問を解消しよう

林業に関する基礎知識を学ぶと、参加者の皆さんの境遇によって様々な疑問や課題が思い浮かんでくるはず。そうしたら、その思いを左に紹介する3つの相談ブースにぶつけてみよう。親身になって的確なアドバイスをしてくれるぞ。

都道府県相談ブース
就業したい地域が絞られている人にオススメなのがこのブース。都道府県ごとに設置されており、各地域の林業の特色や求人についての情報提供してくれる。移住に関する相談にも応じてくれるので、就業にグッと近づくことができるぞ。



全国森林組合連合会 総合相談ブース
まだまだ林業に関する基本的な疑問が残っているという人はこちらのブース。全国森林組合連合会のスタッフが、林業への就業支援制度など様々な疑問に答えてくれる。




その他こんなコーナーも
森林の道具展示コーナー

安全用品やチェーンソーなどの林業の道具一式を展示している。見ていれば就業後のイメージが湧いてくるぞ。



緑の研修生交流ブース
各県の「緑の研修生」が相談に乗ってくれるのがこのブース。「緑の雇用」の研修を受けての感想や、就業までどんな道すじを辿ったのかななどの体験談は大いに参考になるはず。



Step 2

「林業の仕事に就く第一歩はここから」 「林業就業支援講習」に参加しよう

「林業就業支援講習」は厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会が各都道府県にて実施するものです。

原則45歳未満の方を対象に林業の基礎知識、林業体験、職場見学、就業・生活相談を通じて林業への円滑な就業を支援します（なお、この講習は、必ずしも就職を保証するものではありません）。

詳細は左のホームページにアクセス！



チェーンソー講習

林業には欠かせない道具であるチェーンソー。持ち方や刃の角度などの説明を受け、実際に木を切りながら技術を身に付けていく。



実地講習

習得した技術を使い、実際に林内で作業をする。

●詳細はホームページをチェック！ 林業就業支援ナビ

林業就業支援講習や、他の講習、ガイダンスなどの情報はこちらのホームページでチェックしよう。各都道府県の林業イベント情報なども掲載している。

<http://www.nw-mori.or.jp/>



林業就業支援講習

検索

林業就業支援講習「20日間コース」の実習プログラム例

- 林業就業にかかる基本的な知識の講習
- 安全衛生講習
- 刈払機・チェーンソー作業の講習
- 小型車両系建設機械（3t未満）運転業務の講習
- 実地講習
- 林業関係施設見学
- 就業・生活相談



実地講習+資格取得

取得資格：チェーンソー/刈払機/小型車両系建設機械
講習日数：10～20日間



林業体験（資格取得なし）

屋外作業、施設見学、就業・生活相談。
講習日数：4～5日間



相談会

就業・生活相談、施設見学等
講習日数：1日

現場の声

事前に林業を体験することで、スムーズな就職準備ができた！

今年の秋、林業就業支援講習を自分の生まれ育った地元で受講した。私も含め10人程度の受講生がいた。

初めに林業の基本的な知識や安全についての講義を受けた。林業に興味があり、色々と情報収集をしていたが、この講義を受講して、自分で調べるだけではなかなか分からない林業の現状を知ることができた。

刈払機やチェーンソーの講習では、初めは持ち方すらもよく分からなかったが、指導員の方が一つ一つ丁寧に教えてくれたので、基本的な扱い方をしっかりと身に付けることができた。資格も取れたので、就職に向けての自信に繋がった。

山林に出て実際に林業の作業を行う実地講習では、身に付けた知識と技術を用いて、刈払機で雑草を払ったり、チェーンソーで木を切ったりと貴重な体験をすることができた。

林業への就職を考えている方や興味を持っている方は、林業就業支援講習で林業を体験してみるのが良いと思う。就業・生活相談もあるので、就職の準備ができるし、同時に林業という仕事が自分に合うのか事前に確認することもできる。

Step 3

就業後の段階的な育成支援
「緑の雇用」で確実な技術を



「緑の雇用」現場技能者育成推進事業、通称「緑の雇用」とは、林業事業体を通じて林業に就いた人を支援する国の制度のこと。森林組合や林業会社などの林業事業体が新規就業者に研修を行う際、事業体に対して国から補助が出る仕組みになっている。この制度を利用して研修を受ける人を「緑の研修生」という。そのため「緑の研修生」になるには、林業事業体に雇用されていることが必須の条件となる。

「緑の研修生」は、まずは林業作業士（フォレストワーカー）研修生として、就業した林業事業体で実地研修（OJT研修）を受ける。また、実地研修と並行して同じ地域の「緑の研修生」が集まる集合研修にも参加し、様々な林業機械の取扱いや安全に関することを学んでいく。1年目、2年目、3年目とプログラム内容が変わっていく、年次に応じてステップアップできる。また、5年以上、10年以上のリーダー向けの研修も用意されているなど、就業者のキャリアアップを支援する内容となっている。

●「緑の雇用」事業の体系

研修の種類	集合研修	実地（OJT）研修
トライアル雇用：林業就業希望者が、仕事や職場に合っているか試す3ヶ月間の就業。（本格就業前）		
本格採用前	実施しません。	3ヶ月
林業作業士（フォレストワーカー）研修 新しく林業の仕事をはじめた方対象。OJT研修や、集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。		
1年目	28日程度の座学と実習 林業作業の基本【研修中に取得する安全講習等】 ・刈払機取扱作業 ・伐木等の業務（チェーンソー作業） ・玉掛け技能講習 など	8ヶ月
2年目	29日程度の座学と実習 1年目で学んだ内容の確認・応用【研修中に取得する安全講習等】 ・不整地運搬車運転技能講習 ・荷役運搬機械によるはい作業従事者 ・機械集材装置の運転業務 など	8ヶ月
3年目	21日程度の座学と実習 基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業【研修中に取得する安全講習等】 ・簡易架線集材装置の運転業務 ・伐木等機械の運転業務	8ヶ月
現場管理責任者（フォレストリーダー）研修 作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方対象。判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。		
5年以上	16日程度の座学と実習【研修中に取得する安全講習等】 ・造林作業の作業指揮者 ・はい作業主任者 ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者	実施しません
統括現場管理責任者（フォレストマネージャー）研修 複数班の統括など現場全体の管理責任能力を身につけたい方対象。コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の統括管理責任を担える能力を身につけます。		
10年以上	10日程度の座学と実習【研修中に取得する安全講習等】 ・安全衛生推進者養成講習	実施しません

緑の雇用総合ウェブサイト
「RINGYOU.NET」

「緑の雇用」事業の詳しい説明はホームページに掲載中。林業に関する様々な情報や、各都道府県の相談窓口も紹介している。



緑の雇用 検索



詳しくは
ホームページで!

現場の声

経験とともに技術も向上
明るい山づくりに充実感

群馬県渋川市 渋川広域森林組合

前職では自動車メーカーのデザイナーで整備士をしていた大塚さん。「体を使って生涯現役でいられる仕事に転職しようと思った」と林業を志し、縁あって渋川広域森林組合に入職した。最初は「高齢の先輩たちについていけないかったです。翌朝は起きるのもやっとの筋肉痛で悲鳴をあげたこともありました」と振り返る。カラダができるまでには約1年かかったというが、経験を積むにつれて伐倒技術や機械の操作をマスター。平成27年度にはフォレストリーダー研修も受講し、今は中心メンバーとして活躍中だ。



H27 フォレストリーダー研修生 大塚寛寛さん

「手入れをしていない山が、健全な山に甦った姿を見たときにやりがいを感じる」と話す大塚さん。所有者の方からお褒めの言葉をいただいたときは、一層励みになるといいます。夏には趣味のロードバイクやマウンテンバイクで山の中を走り、冬はスノーボードに出かける。新たにはまったのは模型のガンプラ作り。残業が無いので、たっぷりある時間を楽しんでる。「これも規則正しい生活が約束された林業の良さですね」と笑顔で語ってくれた。

耕そう、大地と地域の未来。JAグループ 募集から就農・定着までステージに応じてサポート 日本各地で成果を上げる JAの新規就農支援



JAは農家のみなさんを総合的にサポートしています！

JAグループが進める「みんなのよい食プロジェクト」キャラクターの笑味（えみ）ちゃん。 ©みんなのよい食プロジェクト

JA...「農業協同組合」の英語表記「Japan Agricultural Cooperatives」の頭文字を組み合わせたニックネーム。

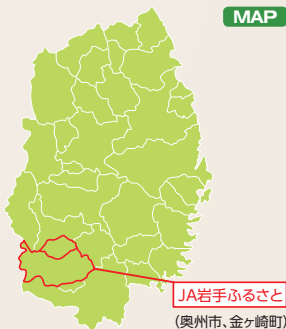
JAの総合力を活かした新規就農支援

地域の農家が協力し合い、農産物の販売や資材の共同購入など幅広い活動に取り組むJA（農協）が、各地で新規就農者の育成に力を入れている。

実家が農家ではない場合、「農業を始めたい」と思っても、何が必要で、どのような手順を踏めばいいのか分からないという人も多いはず。

JAの就農支援なら、農業者の組織が農地や資材の確保、栽培技術など生産から販売までトータルで支援・相談にのってくれるとあって、注目度が高まっている。とはいえ、すぐに一人前になれるほど、農業は甘くないことも事実だ。就農への熱い思いに応えてくれるJAの取り組みと、努力を重ねて独立就農した先輩たちの声を聞いた。

↓ JA岩手ふるさと本店



JA岩手ふるさと
(奥州市、金ヶ崎町)

↑ 齋藤さんが管理するハウス。

岩手県 JA岩手ふるさと

JA岩手ふるさとでは、平成16年に新規就農者支援のための「農業マイスター制度」を立ち上げ、10年以上の歴史を持つ。就農希望者は1年間JAの特別臨時職員（月給150,000円）として採用され、社会保険完備の安定した雇用環境のもとで研修を受ける。就農した時に役立つよう、研修は現場指導中心。地域の先進農家が受入を担当し、研修生は高水準の栽培技術を実践の中で学ぶことができる。研修後の就農支援においても、JA・自治体をはじめとした地域の関係機関が連携し、活用できる事業や制度を提供。就農計画や機械施設導入などでわからないことがあればJA担当者が相談に乗ってくれる。就農希望者が研修から就農までのトータルの支援が受けられるよう、サポート体制が準備されているのだ。

岩手ふるさと農業協同組合

〒023-0402 岩手県奥州市胆沢区小山字菅谷地 131-1
☎0197-41-5200
<http://www.jafurusato.or.jp/>

研修生への
インタビュー

研修を修了し地域で独立就農

齋藤博幸さん 37歳
農地 48a
作物 ビーマン



↑ 齋藤さん。お子さんも収穫を手伝ってくれる。

農業マイスター制度を活用して平成25年に就農した齋藤さん。就農を志した背景には、東日本大震災があった。

「仙台で体験した東日本大震災は、自身の生活を見つめ直すきっかけとなりました。スーパーに新鮮な食べ物がなく、レトルト食品ばかりの毎日。食事に彩りを与える野菜の大切さを強く感じましたね。農業の知識は全くなかったのですが、その時期から就農を考え始めました。」

独立立ち上げて5年目、研修期間で培った人間関係に今でも大きく助けられているという。

「全く知らない土地で、しかも独立してやっていくのは本当に大変です。予想外のことがたくさん起こる。ただ、研修の受入先や研修中に関わった先輩農家の方に、わからないことを相談させてもらえる環境は非常にありがたいです。機械や設備導入も、JAの方がサポートしてください。まだまだ苦労の方が多いけど、岩手に来ていなかったらこんなに大きな圃場で独立立ち上げていかなかったと思います。」

やるからには、大きな目標を持って取り組む。

「今は、農福連携など『農業で社会貢献を行う』ことにも興味があります。『農業で何かを成し遂げたい』というような前向きな目標を持つと、毎日が楽しくなる。これから就農を目指す方にも、自分なりの目標を考えることをおすすめしたいですね。」



↑ スイートピーハウスの様子。

↓ JA 岡山西本店



岡山県 JA 岡山西

モモ・ブドウなどの果物や野菜・花き・コメと、多種多様な品目を産出する地域を事業区域とする JA 岡山西。管内の地域を4ブロックに区分し、それぞれの地域の特色を活かした新規就農支援を推進している。就農希望者は1か月の体験研修の後、2年間の実務研修を受ける。研修は産地受入方式。希望の作物や地域に合わせて受入先となる先進農家を決定する。研修中は受入農家に任せきりではなく、定期的に研修生・受入農家・JA・自治体の担当者でのミーティングを設けるなど、関係機関が連携して就農に向けた支援を行う。受入先では、実務研修以外にも地域のイベントや部会への参加など地域の先輩たちと親交を深める機会を多く設け、独立後も役立つ人間関係の形成を促す。直近5年間で見ても、実務研修修了者の全員が就農して立ち立ちしており、取組の充実が表れている。

岡山西農業協同組合

〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1

☎086-441-6770

<http://www.jaokanishi.jp/>

研修生へのインタビュー

研修を修了し地域で独立就農

木下良一さん 56歳
農地 25a (30 連棟パイプハウス)
作物 スイートピー



↑ 木下さん。移住して就農し、花き部会の会長も経験した。

平成10年より2年間の就農支援研修を経て12年に就農した木下さん。きっかけは書店でたまたま手に取った農業漁業への転職を勧める本だったという。

「農業とは全く関わりのない化学系の会社に勤めていました。ただ、若い頃から35歳くらいで何かで独立したいという意思がありました。その本を見てから、妻と共に情報収集を始めました。岡山に決めたのは、自治体やJAが連携した受入体制を作っており、信頼できると感じたからです」。

研修中は、独立後を見据えて懸命に汗を流した。「経験の差を埋めるためにも、受入農家や他の先輩方から学ぶ技術を細かく記録して手順書をまとめるなど、常に振り返るようにしました。温度や湿度、灌水や肥料の量、栽培管理方法などを細かく数値化・記録し、データを蓄積していきました。こうした記録や作業環境を改善するための取組みは就農当初から続けており、15年以上経った今では大きな財産になっています」。

独立して早や17年。花き部会の会長も経験するなど、今では研修生を受け入れる立場になった。「新規就農を目指す方には、とにかく前向きな気

持ちで臨んで欲しいです。就農は簡単ではありませんが、取組み次第。「何をどこでどう作りたいのか」を本気で考えること。そして自分が求める経営と地域が求める人物像が合うところで頑張る。今は比較的容易に情報が入手できる時代ですが、実際に現地に行って直接話をし、情報を集めることも大切。岡山には地域が一体となつてスムーズな就農を支援していく体制があります」。



↑ 木下さんが管理するハウス。



JAグループ 新規就農支援

検索

あなたの近くで さっと見つかる！ 各JAの新規就農支援

JAグループのホームページからは、全国地図や都道府県名より、各地のJAおよび新規就農支援情報が検索できる。コンテンツは農産物の販売ランキングや研修の種類、募集情報、就農支援について等、役立つ情報が掲載されている。気になる地域の情報を集めて、就農への第一歩を踏み出そう。

<https://agri.ja-group.jp/support/start>



住んでみて、心に決めた “第2のふるさと”

「移住したい」、そう思っても、移住先が自分の理想と本当に合致するかどうかは実際に住み始めてみなければ分からない。気候はどうか、地域に馴染めるのか、周囲の人々はどのように働いているのか…。

そんな移住希望者の不安を少しでも解消するため、「移住お試し住宅」を構える自治体が増えている。今回は、「移住お試し住宅」を使って実際に住んでみることで移住の良さを確認し、“第2のふるさと”を見つけだした方々に話を聞いた。



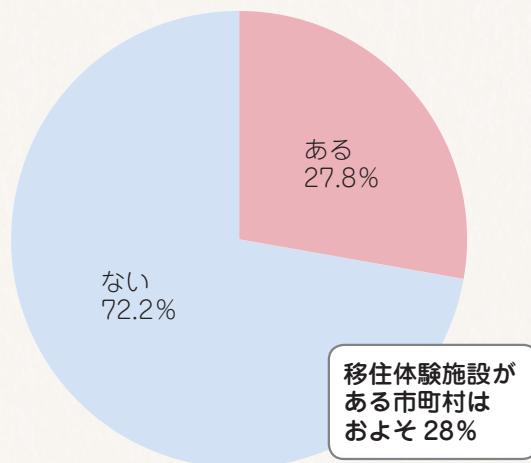
移住希望者の大きな味方「移住お試し住宅」

「移住お試し住宅」とは、移住を考える人に、地域に実際に住んでもらって移住先の雰囲気を感じてもらうための施設だ。主に自治体が運営し、利用できる期間は地域によって1日～2か月、またはそれ以上の長期などと様々。移住希望者は、その間地域の人々と交流をしたり、実際に農林漁業の就業体験をしたりしながら、「ここが思い描いていた“第2のふるさと”かどうか」を確認することができる。移住を希望していたとしても、実行に移すのはとても勇気がいること。移住を考えている候補地があるならば、まずはこのような施設を利用して移住の疑似体験をしてみるのも良いだろう。

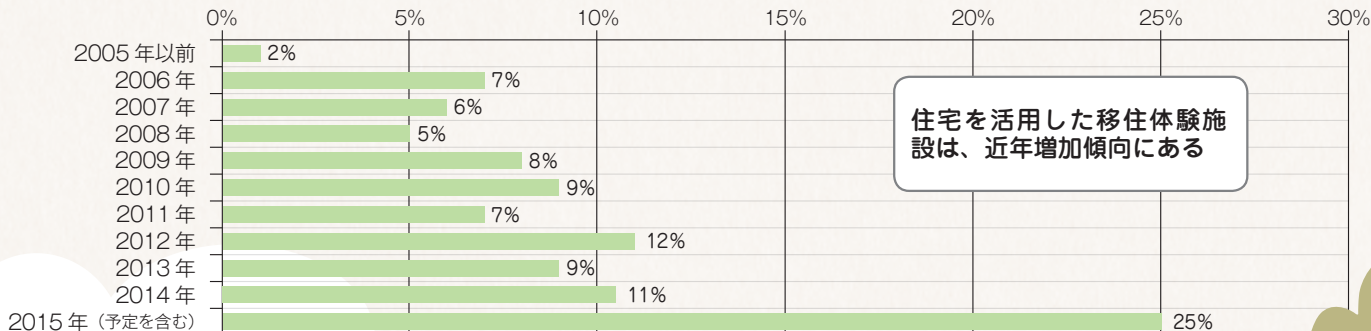
「移住体験施設についてのアンケート調査」(2015年・一般社団法人移住・交流推進機構(JOIN))によると、2015年9月時点で「移住お試し住宅」を構えている市町村はおよそ28%。多くが空き家や公有の住宅を活用したもので、そのうち70%を超える施設が2010年以降に開設されている。住宅を活用した移住体験施設は、近年増加傾向にあるのだ。

グラフ1

移住者の受け入れ促進を目的とした移住体験施設の有無



グラフ2 移住体験施設の開設時期（住宅タイプの施設について）



【出典】「移住体験施設についてのアンケート調査」(2015年・一般社団法人移住・交流推進機構(JOIN))
 ※調査実施時期：2015年9月
 調査対象：(グラフ1) JOINの会員市町村1201団体(うち回答団体数893団体)
 (グラフ2) 移住体験施設が「ある」と回答したJOINの会員市町村



「移住お試し住宅」とは？

- 目的** 移住を考えている方に地域の暮らしを体験してもらうために、主に自治体が設置している住宅。
- 期間** 1泊からの短期利用向けの施設や、半年以上利用可能なものなど様々。
- 利用料金** 施設によって異なるが、一般の宿泊施設を利用するよりも安いケースがほとんど。
- 施設** 多くが空き家や使われていない公有の住宅を活用したもの。
- 利用対象者** 施設によっては地域外からの移住を考える！ターン希望者に限定するところもある。

使い方いろいろ！

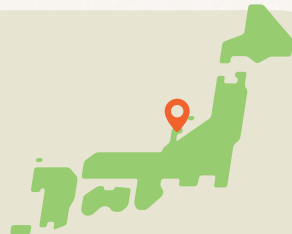
たとえばこんな使い方が…

- 移住を考えている地域に実際に住み、雰囲気を感じ取る！
- 農林漁業等の職業体験の際の住まいに！
- 移住を決めたのち、住宅探しや仕事探しの拠点として利用！
(※施設によって利用目的が設定されているところもあるので、要確認)

ただ今増加中！ 全国の「移住お試し住宅」例

石川県能登町

住宅規模：一軒家、
14DK、286.47m²
利用期間：1日～3か月



特徴

- ・ 空き家を整備し、活用している。風呂やトイレなどのリフォームを行い、快適に使用できるように準備。
- ・ 部屋数の多い広々とした一軒家で、家族で利用できる。
- ・ 利用前にカウンセリングを行い、要望に合わせて移住体験プランを作成。必要に応じて「移住コーディネーター」が同行し、サポートしてくれる。
- ・ 移住を決めた場合は、住宅が見つかるまでの「仮住まい家」を準備。移住の際にネックとなる住宅探しを、落ち着いて行うことができる。



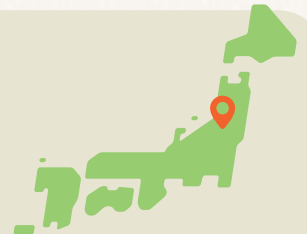
能登町定住促進協議会
<http://www.nototown.jp/>



石川県の他の「移住お試し住宅」はこちらへ
いしかわ暮らし情報ひろば
<https://iju.ishikawa.jp>

福島県喜多方市

住宅規模：一軒家、224m²
利用期間：1週間～3か月
利用料：1か月 15,000円



特徴

- ・ 古民家を改修し設置。冷蔵庫・洗濯機・炊飯器など、長期滞在できるよう備品も充実。
- ・ 2～3日の短期間での利用は不可。1週間以上の利用により、地域をより理解してもらうことを推奨している。
- ・ まずは短期間の体験を希望する方向けに、日帰りでも利用できる農業体験などのメニューも多数用意されている。
- ・ 2008年より、先輩移住者で構成される「喜多方市定住コンシェルジュ制度」を設置。移住希望者は移住に関する不安な点などを相談することができる。



喜多方市「田舎暮らしへの応援体制」
<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/nousanson/127.html>



「移住お試し住宅」を利用して移住した方のインタビューは次ページから！

住んでみて、
心に決めた「第2のふるさと」

Agriculture

首都圏暮らしから心機一転就農へ！ 「お試し移住」で理想のまち探し

石川県七尾市

亀井勉さん（42歳）

農業歴・1年8か月

「かめい つとむ」神奈川県出身。横浜で育ち、東京のリース会社で勤務するなど、首都圏で生活。移住お試し住宅を利用するまでは、農業とは無縁の生活を送っていた。

理想の環境を求めて行動
「お試し移住」で感じたギャップ

「首都圏での生活しか経験したことがなく、農業とも全くの無縁でした」と語るのは、2016年に神奈川県から石川県に移住し、現在は農業法人「株式会社スギヨファーム」で働く亀井勉さん。

亀井さんは横浜で育ち、東京に就職。流通業やリースの会社に勤めた。農業はまだ頭になかったが、漠然と何か違う生活をしてみたいという願望はあった。

「当時は『ものを動かす・管理する』仕事。でも僕は、『自分でものをつくる』仕事をしたいと思ったんです。首都圏から出て、新たなところで暮らしてみたいという気持ちもありました。」

会社員時代の同僚が石川県に移住していたこともあり、東京で開かれた移住の説明会に参加。そこで、石川県の移住お試し住宅（詳細はP8、9を参照）の存在を知り、まずは1週間のお試し移住体験を試みる

ことを決めた。

利用したのは2月、石川県能登町にある2階建て住宅。ホテルとは異なり、お風呂も自分で沸かして入る。首都圏の生活が長かった亀井さんにとっては、北陸の冬の生活は驚くことばかりだった。

「まず感じたのは気候の違いでした。寒いのは覚悟していましたが、太平洋側の冬と違って雨も多い。あとは車が生活に欠かせないこと。細かいところでいえば、ガソリンスタンドが閉まるのが早い、とかですね。ただ、何よりも食べ物がおいしくて居心地も良かった。1週間という短い期間でしたが、良い面でも悪い面でもギャップを感じることができました。実際に来てみるのがいかに大切かを実感しました。」

移住体験をして良かったことは、それだけではない。体験中は、自治体の移住コーディネーターが、地域の様子や移住した場合の仕事・住まいなどを同行して紹介してくれた。現在勤めている七尾市の農業法人も、能登町のコーディネーターからの紹介



石川県の「移住お試し住宅」

事業担当者の声

移住体験の際には、事前にカウンセリングを行い、要望に合わせて個別に移住体験プランを作ります。移住体験中には必要に応じて「移住コーディネーター」が同行して案内します。短期間では分からないことも多いので、夏・冬というように異なる季節に複数回体験することをお勧めしています。住宅は海側と山側を用意しているので、両方とも体験してもらおうのも良いと思います。

能登町定住促進協議会
移住コーディネーター
森 進之介さん



お試し移住施設

「能登暮らし体験 小間生の家」(山側)

場所：能登町小間生
住宅規模：14DK、
286.47m²
利用期間：1日～3か月



能登町定住促進協議会
<http://www.nototown.jp/>

をきつかけに入社した。「ものづくり」を志していた亀井さんにとっては、就農という選択肢はとても魅力的だった。その後、岐阜や富山など他県の移住お試し住宅を利用した末、亀井さんは石川県に移住し就農することを決意した。

周囲のサポートで苦勞を乗り越え 移住で叶えた「ものづくり」の夢

就農を果たした亀井さんだったが、全く知識経験のないゼロからの挑戦は、苦勞が絶えなかったという。

「知識も経験も何もなく、草刈機の使い方さえ分からない。最初は特に大変でした。でも、会社の先輩方はもちろん、県の支援制度など、周囲の人たちのサポートがあつたおかげで、少しずつ技術を習得していく

ことができました。」

亀井さんが移住した石川県では、農業体験から就農後までの段階別の研修支援が多数用意されている。亀井さんが利用したのは「いしかわ耕稼塾・実践科」という就農後の研修制度。働くかたわら、週に1回程度、座学から現地実習まで様々な研修を受けることが出来る。亀井さんは就農後1年でトラクターの免許や農業技術検定を見事取得した。就農して2



↑能登伝統野菜の中島菜の畑。漬物やおひたしなどにすると美味。

「ものづくり」を志して移住した亀井さんにとって、自身で育てた作物を収穫する瞬間の喜びは格別だという。

「初めての収穫の時には『移住して良かった』と感じました。これか

る今では、2haもの圃場を同僚と共に任されている。

免許や農業技術検定を見事取得した。就農して2年が経とうとする今では、2haもの圃場を同僚と共に任されている。

ら移住を考えられている方にも、『移住して叶えたい夢』を何か一つ持ってほしいですね。それは仕事でも趣味でも良いと思います。僕にとつてそれは『ものづくり』でした。やりたいことが明確にあれば、思い通りにいかないことがあっても納得できるし、努力できる。あとは、興味があればまず現地に行ってみれば良いと思います。インターネットで調べるだけではわからないことがたくさんありますから。」

一步を踏み出し、移住お試し住宅を利用して理想の生活に出会った亀井さん。周囲のサポートへの感謝を抱きながら、移住で叶えた「ものづくり」の喜びを堪能している。

My favorite scenery

移住先のお気に入り風景



↑職場から見える風景。夕陽に照らされる七尾湾を一望できる。

「いしかわ耕稼塾」とは

就農準備校に相当する「予科」「本科」「専科」のほか、農業経験の浅い方向けの「実践科」など、経営発展に向け、幅広い研修を実施。移住就農者向けの支援策も充実しています！（本誌P19参照）



→いしかわ耕稼塾の研修風景（管理機の操作研修）。

石川県の就農相談はこちらへ
公益財団法人いしかわ農業総合支援機構
TEL：076-225-7621 <http://www.inz.or.jp>



能登はとにかく風景がきれいでご飯も美味しく、住み心地が最高です。畑からは美しい海の景色を堪能できます。能登には温泉が多く、休みの日には湯につかり疲れを癒すのが今の楽しみです。移住者同士の交流もあり、たまに集まって食事を楽しむこともあります。

住んでみて、
心に決めた「第2のふるさと」

移住先の林業学校で基礎を習得 山仕事は難しいからこそ面白い!

高知県仁淀川町 相原 晋さん (38歳)

林業歴・1年8か月

「あいはらしん」大阪府出身。保育の仕事に従事した後、田舎暮らしを考え林業を志す。高知県立林業学校で1年間学び、2016年4月に株式会社明神林業に就職。

「林業はやめといたほうがいい」
思わぬ言葉に発奮して林業へ

大阪府で長く児童福祉施設に勤務していた相原晋さんだったが、いつしか田舎暮らしを思い描くようになり、全国森林組合連合会が主催する森林の仕事ガイドランスに2015年1月に参加。そこで林業に関する説明を聞いていた時に、ある都道府県のブースで「林業は危険だから、よほどの覚悟がないとやめといたほうがいいよ」という言葉を聞き、逆に興味を持ったという。

「何をやるにもお金がいるなどと思い、保育の仕事の後に一時期自動車工場で期間工として働いていました。その仕事が体力的にも結構きつかったので、『これができるなら自分はどうな仕事でもできるんじゃないか』と自信を持っていたのに、林業への就職では思いがけない言葉を受け正直力チンときたんだと思います(笑)。とにかく一度体験してみようと思いました。」

そして、高知県土佐町で開催された林

業体験に参加し、木が倒れる迫りと危険さを実感。まずはしっかりと勉強する必要があると考えた相原さんは、ガイドランスで2015年



↑伐倒後、道路に横たわる木をひとまず山の斜面側に下ろす。こうした重機の操縦も林業学校で習得した。

度から高知県が林業学校を開校するという話を聞いていたこともあり、第一期生として入学。入学当初は一般の賃貸アパートで暮らしていたが、同期生が香美市のお試し住宅を利用しているということを知り、相原さんも入居を希望した。

「家賃が安いし、備え付けの家電があることも助かりました。居心地はかなり良かったです。」

すでに高知での生活に慣れてきた相原さ



高知県香美市の「移住お試し住宅」



お試し移住施設

「香美市お試し移住体験住宅」

場所：香美市香北町吉野
住宅規模：2階5部屋
間取り：全部屋1DK
利用期間：1か月～6か月
利用料：1部屋1か月
15,220円（共益費込み）

お試し住宅情報紹介サイト
<http://www.city.kami.kochi.jp/soshiki/11-2/otameshi.html>



事業担当者の声



香美市定住推進課定住班
公文 直樹 さん

2009年からお試し住宅事業を実施しており、これまでに43組の方々にご利用いただいています。相原さんの場合は香美市内での林業の雇用がなかったため市外で就業されましたが、お試し住宅入居中は、香美市内への就業と本格的な移住に向けサポートさせていただきます。

んだが、お試し住宅への入居のおかげで仲間と食事を作るなど充実した生活を過ごしながら、林業学校を卒業できた。その後は、林業学校の研修で訪れていた株式会社明神林業に就職し、2016年4月から社員として林業に従事している。

自然の循環、技術と知識の習得
そして会社の成長のために努力

移住前に、田舎暮らしを考え始めた相原さんは、林業について知るにつれ「森を良くすれば川が良くなり、土砂崩れも減る。山を良くすることが日本を良くするんじゃないかと、漠然とですが考えていました」と、自然の循環を意識するようになったという。そして、安全を確保しながら効率良く作業することは難しいものの、その難しさに挑戦すること自体に楽しさを感じ、林業への関心はより高まってきた。

それでも、相原さんはやる気に満ちている一方で、やはり林業は危険と隣り合わせの仕事であるとして、他人に簡単には勧められないとも話す。

「大きな木や石に当たれば“一発アウト”ですからね。危ない仕事であることは間違いないです。でも頑張れば頑張る分だけ、材を出せば出した分だけお金になることは分かりやすく、やりがいを感じます。」

安全に関して、相原さんは特に強く気を使っている。一度、切っている途中で木の幹が縦方向に割れたことがあったという。割り箸のように縦に割れた木は、重みに耐えきれなくなるところで折れ、真下に落下する。すぐに逃げて事なきを得たが、割っていくスピードが思いの外速いことに驚いた。



↑ 枝が絡むなどして倒れない木を、フェリングレバーと呼ばれる道具で回転させて倒す。

My favorite scenery
移住先のお気に入り風景

↓よさこい祭りで踊る相原さん。



↓「仁淀ブルー」として有名な仁淀川町の景勝地、安居渓谷。



仁淀川町は川がきれいなことで有名です。毎年、高知市内で8月に開催される「よさこい祭り」には会社で参加していて、入社時は「自分は踊りませんよ」と言っていたのですが、先輩が踊るのに自分が踊らないわけにもいきませんでした。ですが、踊ってみたら面白くて、今では参加して良かったと思っています。

たと話す。

危険を語りながら、仕事として見た林業に関する相原さんの口調は明るい。



↑ 取材日に作業していた現場のメンバーと。

「会社は従業員に対して『いつかは自立しろ』という方針です。確かに自分の山を持つて自伐型林業ができるようになるという思いもあるけど、今は会社が管理する土地が広

がっている途中で、これからどうなるのかを見たいという気持ち強い。もっと知識と技術を身につけて、会社が大きくなる原動力になれたらと思います。」

林業は、取り扱う対象が「木」である。その大きさと、山の中という環境のため、物流に課題のあることが多い。しかし明神林業はその点をクリアし、積極的に山を買増すことで事業の拡大を進めている。「安い外国産木材に押される一方」という日本林業の固定観念を打ち砕く活躍ぶりだ。

移住した仁淀川町という土地で、個人としても、組織としても日々成長を感じる環境で、相原さんの挑戦は続く。

住んでみて、
心に決めた「第2のふるさと」

手厚い移住者支援策により 子供の頃から夢だった漁師への道を拓く

福井県越前町 古田 涼さん（19歳）
漁業歴・1年8か月

「ふるたりのう」大阪府吹田市出身。子供の頃から将来は漁師になりたいという夢を持ち、高校在学時から漁業体験に参加。ふくい水産カレッジを経て越前町の漁師となる。

夢の実現へ向けて高校在学時から
就業支援フェアや職業体験に参加

日本海に面する福井県越前町にある越前漁港は、若狭湾を眼下に望み、対馬暖流と寒流がぶつかり合う海域により、多くの魚が集まる好漁場として古くから水産業が発達してきた。古田涼さんは高校卒業と同時に福井県唯一の水揚量を誇る越前漁港へ飛び込み、定置網漁船で働いている。

大阪府吹田市出身の都会育ちで、漁業とは縁のない生活を送っていた古田さんであったが、「子供の頃から漁師になるのが



↑越前漁港では越前ガニを始め、越前カレイやブリなど様々な魚種が水揚げされる。

夢でした」と強い志を持っていた。高校3年生の時、卒業後の進路について考える中で、夢である漁師になるため、就漁

へ向けて本格的に行動を起こしていく。「当時、漁師になりたいという夢を持っていたものの、具体的な漁法などについては一つも知りませんでした。インターネットを使って漁師という仕事について調べていき、定置網や底引き網などといった漁法を知りました。多くの魚種が捕れる定置網がいいかな、なんて考えていましたね。」漁師について色々調べうちに漁業就業支援フェアを知り、大阪で開催されるフェアを訪ねた。このフェアに参加することが就漁への想いを一気に加速させることとなり、夏休みを使って越前町が実施している漁業体験への参加を決意した。

全国に数ある漁港の中で越前町を選んだ理由には、「あまり遠くに行かないでほしい」という母親の希望があった。どうしたものかと考えていた時、福井県には小浜市に親戚がいたこともあり、越前町ならと了解が得られた。また、フェアで様々なプーラスを見ていく中で、越前町は移住支援が手厚かったことも大きな理由だった。





1 魚は午前4時と午後1時からの2回。基本的には3時間程度で帰港するが、大漁時は午前に出港して昼過ぎの帰港となることもある。

住居を無償で提供するなど 若手漁師の就漁をサポート

夏休みを活用し、7月下旬から8月上旬で行われる漁業体験に参加した。漁業体験中は、町が用意する移住・二地域居住体験施設「モハーヂュ」で生活を送ることとなった。漁業体験で利用する際には家賃や光熱費は県や町が負担してくれる。テレビや冷蔵庫庫、洗濯機など、生活に必要な設備・家電は一通り揃っている。寝具と生活用品だけ用意すれば生活できる環境が整っている。利用期間は半月ほどではあったが、収入がない学生であった古田さんにとっては非常に大きなサポートだったと振り返る。

「漁業体験での利用でしたので、毎日疲れ果てて寝に帰る、といったような使い方だったのですが、県や町からの援助で宿泊費の負担がないというのはとても助かりました。また、この体験を通じて感じた印象がとても良かったのを覚えています。特に関わった人たちの人柄があまりにも良かったので、もうすぐにもここで漁師になりたい！という気持ちになりました。」

漁業体験により漁師や越前漁港の良さを強く感じた古田さんは、高校卒業とともに越前町への移住を決め、小樽定置網組合に就職を果たす。越前町では漁業者育成プログラムとして、福井県が創設した「ふくい水産カレッジ」に入校する。ここでは1年間、仕事と並行しながら、漁業者として必要な知識習得へ向けた研修を、月1回のペースで受講していく。カレッジに入校した方には町が研修生専用住宅を無償提供しており、研修終了まで共同生活を送る。

「同期とは家で毎日顔を合わせていたのですが、その日の仕事や出来事についての話をよくしていましたね。移住者同士のストレス解消にもなりました」と、漁師の仕事と研修を並行して行っていく多忙の中、知らない土地へ移住して漁師を目指すという同じ目標を持つ者同士の共同生活は、心の支えとなる部分もあったようだ。古田さんのような新卒者や貯蓄の少ない人にとって、このような移住者支援住宅を始めとする手厚いサポート制度は心強い。

越前町で漁師となり1年8か月。「いずれは定置網漁船の船頭になりたいですね。30歳になった時に船頭になれていたらいなと思っていました」と語る。子供の頃からの夢をかなえた古田さんにとって、漁船に乗る日々が楽しく、やりがいもひとしおだ。漁師としての誇りを胸に、古田さんは今日も海に出る。

たので、もうすぐにもここで漁師になりたい！という気持ちになりました。」

越前町の「移住お試し住宅」

越前町役場 担当者の声



越前町役場定住促進課
古崎 竜司 さん

1985年築の酒蔵をリノベーションして提供しています。一人でも家族でも利用料は同じです。春先から夏にかけての利用が多く、平均利用期間は10日ほどで、利用中は地域を見て回るのももちろん、空き家探しをしたり、子供がいる方は学校などの施設を見て回るような使い方をされています。また希望者には地域の風土や文化にふれられるよう体験プログラムも色々用意しています。

My favorite scenery

移住先のお気に入り風景

→越前岬水仙ランドでは白くそびえ立つ越前岬灯台のバックにパノラマ風景が広がる。



←越前バイパスから城山へ峠道を登って行くと越前漁港を展望できる絶景ポイントがある。



休みは月に1回、毎週火曜と土曜日は午前の漁だけとなるので、まとまった休みは少ないのですが、時間がある時は車を走らせて景色のいいスポットに出かけたりしています。基本的に海しか眺めていないのですがドライブがリフレッシュになります。越前町は海がとてもきれいに見られるスポットが多いですよ。

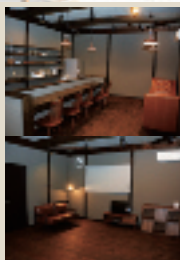


お試し移住施設



「移住・二地域居住体験施設 モハーヂュ」

場所：越前町茂原
住宅規模：1階2部屋、
2階4部屋
利用期間：3日～1か月
利用料：2泊3日～30泊31日
6,000円～40,000円



越前町役場定住促進課
<https://echizen-iju.jp/taiken>



第三十回

もうひとつの 自給自足

中村 顕治

【なかむら・けんじ】昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。ブログ「食うために生きる—脱サラ百姓日記」<http://blogs.yahoo.co.jp/tamakenjijibaba>



今回は編集部にお願ひし、いつもの倍のスペースを割いていただいた。僕は自作の発電装置で家庭電気をすべて作ろうとしている。ズブの素人のその奮闘記である。電気の手いでのガス代も節約しようか。露天風呂の楽しさも交えて書く。

稲垣えみ子さんの『寂しい生活』

を讀んだ。アフロヘアがなぜいけないのかといった文意のものを彼女がまだ朝日の編集委員だった頃に新聞で讀み、その直言ぶりに大いに興味を抱いたのだ。『寂しい生活』は会社を辞め、電気と手を切った彼女の生活記録だ。洗濯機、掃除機、電気毛布を捨て、冷蔵庫も捨てる。エスカレーターやエレベーターも電気で動くのネ。ならば、と階段を使う。それで体力がついた、息が切れなくなった、そう語る。一徹な方である。

彼女がそんな暮らしに踏み出した理由は、それ以前すでに布石はあったようだが、直接のキッカケは東日本大震災だったという。僕もあの震災では少なからぬ影響を受けた。停電で冷蔵庫はストップ、井戸はポンプゆえに水も出ない、風呂に入れない、テレビも見られない。スーパーに行くとき売り場は暗かった。電気というものについて考えさせられた。

僕が太陽光発電システムを最初に設置したのは今年のGW頃である。稲垣えみ子さんは潔く電気と手を切った。しかし僕は出来ない。映画を見るため大きなテレビがある。魚が好きで冷蔵庫には常にさまざまな魚が冷凍保存してある。井戸のポン

プも電気で動かさないと水が出ない。だから電気製品なしという暮らしの発想が僕にはなかった。ならば全ての電気製品を自前の電気でまかなうことは出来ないか？それが今年のGWだった。



ソーラーパネル、コントローラー、バッテリー、インバーター。太陽光で発電するには四つの

機器が必要だが、最初に買ったセットは九万八千円だった。太陽の光を電気に変える。このメカニズムはもちろん、四つの部品がそれぞれどんな役目をするのかもその時点でよく分かっていなかった。学生時代から理科の成績は悪かった。四つをつなげば電気が通じるのだろうと安易に考えていた。

この日から、僕の太陽光発電への情熱と執念は、じわじわと、頭上の太陽にも劣らぬ熱さとなった。ピギナーとして買ったシステムは、ソーラーパネルが300ワット(W)、コントローラーが20アンペア(A)、バッテリーが50A、インバーターが500Wであった。しかし、このシステムは僕がめざす発電レベルに対してかなり非力であるということがまもなく分かる。インバーターというのは、ソー

ラーパネルから送られてきた電気を、ふだん我々が家庭で使っている100ボルト(V)に変換してくれる機械だ。僕は考えた。500Wのインバーターは500Wの電気製品を当然動かすことが出来るだろうと。でも違っていた。インバーターには「定格」と「最大」という表示が必ずある。いかなる電気製品も、スイッチを入れた瞬間には定められた消費電力の倍数を必要とする。すなわち、500Wの器具を動かすためには1500W以上の瞬間電力がないと動いてくれない。結局、最初に買ったシステムでは室内照明程度にしか使えないことを知った。

そうか、そういうことか。GWの翌月、僕は更なる欲が出た。別なセットを買うことにした。それもやはり十万円近くした。今度のインバーターは800Wだった。以前のものよりパワーはあった。だが、次はバッテリーで行き詰まった。太陽光発電用として市販されているものは基本的に100Aクラスだ。それ一つでもなんとかなるが、蓄電の容量を上げ、長い時間使用するためには二つ連結する必要がある。すなわち12V×2で24Vというバッテリーのシステムを僕は作ることにした。この作業過程でバッテリー端子から火花が出る。繋ぎ方を間違えたらしく、ショートして爆発音と煙が発生、腰を抜かしそうになるというアクシデントもあった。

それにしても、バッテリーというやつがこれほどデリケートなものだということを知らなかった



なあ。前の号で書いたが、何十年と車に乗りながら、僕はラジエターにもバッテリーにも手を触れたことがなかった。太陽光発電に関わって初めてどうい性質のものであるかを知った。バッテリー(一つがなんと25キロ以上ある)はなんだか生き物みたい：これが現在の僕の印象である。太陽光を受けてジワジワと蓄電する。しかし、消費電力の多い器具を使うと一気に蓄電量は減る。減ったらただちに充電しなければならぬが、急に曇ったり雨が降ったりするとやきもきする。あれこれ調べてみると、バッテリーは人間と同じで腹八分目がよいと書かれていた。本来の意味とは逆になるが、ためた電気をギリギリまで使ってしまうと寿命が短くなる。最悪、バッテリーは死んでしまい回復不能となる、だから残量をいつも意識しておかねばならない。残量が表示されるコントローラーを、まるで赤子を気遣う母親のごとく、畑仕事の途中で何度も僕は確認する。

太陽光で得た電気を家庭用の100Vに変換する、その機械であるインバーターにはピンからキリまであるということも僕はやがて知る。なかでも大きな学習項目は「正弦波」と「矩形波」との違いだ。正弦波は電気の流れが滑らかな波長を描く。家庭用の電気と同じ性質。

矩形波はギクシャクしている。僕は水道ポンプを動かすために2000Wの矩形波インバーターを、ただ安いからという理由でもって買ってしまったのだが、ポンプは動く、だがパソコンやテレビは駄目だった。小さなノイズが入るのだ。それで正弦波インバーターを買って直した。そして発電を高めるためにソーラーパネルを、付随してコントローラーも次々に買い足した。このソーラーパネルについても僕はだいぶ学習した。パネルには大きく分けてふたつある。「単結晶」と「多結晶」だ。単結晶のほうが太陽光から電気への変換効率が良いとされるが、同じ単結晶でもメーカーや製品によって変換効率14%から22%というかなりの開きがある。

あ あ、そして…結局、気付くとは、僕は、春以来の半年間で、バッテリー(11)、ソーラーパネル(15)、コントローラー(8)、インバーター(7)…この中には途中で駄目にしたものもあるけれど、更に発電を増やしたいとの欲でもって、気付くと四十万円以上を費やしていた。豊かとはお世辞にも言えない百姓暮らしにはなかなかの出費だった。畑で稼いだカネがすべて太陽光へ…。それで思った。ここにもオレの性格がよく出ているなあ。昔から、あれこれ多事に気が散るタイプではないが、何か一事に走り出すと猪突猛進、立ち止まるといふことを知らない悪癖がある(僕は亥年生まれ)。かつての自転車がそう、マラソンがそう、庭を埋め尽くすまで買って植えた果

樹の苗木もそうだった。しかしネ、そうしたのめり込み、大金を投じた自分を悔やんではない。きつとゴルフやサーフィンに熱中する人もそうだと思うが、暮らして一本、精神の太い軸が生まれる、楽しくてしょうがない。これまでも野菜のためによく晴れた朝は嬉しかったが、太陽光を始めて嬉しさは三倍にもなった。晴天の朝は朝食がうまい。ウキウキする。このウキウキに加えて堅実なリターンもある。万一停電となってももう困らないぞ。大願成就だ。最終的に四系統となったソーラーシステムで冷蔵庫二つ、パソコン二台、水道ポンプ、テレビ、洗濯機、室内照明、あらゆるものが雨天の日以外は全てまかなえる。



さ て、この太陽光発電から少し遅れ、僕の心がもうひとつ別なことに向かった。プロパンガスの節約である。庭の釜戸で煮炊きするということは前から少しやっていた。これを更にステップアップしようか。ヤブオクで定価の半額というポリバスを見つけた。毎日夕刻近くになると畑仕事をいったん中断し、二つの釜戸に火を入れる。同じくヤブ

オクで手に入れたラーメン店の寸胴鍋三十リットルに井戸から水を汲み込み、すでに伐採してある栗とか樺とかを釜戸に入るサイズに切る。燃え上がったのを確認してから再び畑に戻る。



夏には自然光で夕刊が読めた。陽の短くなつた秋以降はLEDのランプを灯している。太陽光発電のコントローラーにはUSBの差し込み口があつて、このランプも昼間そこから充電しておいたのだ。日暮れが遅い夏の日には頭上に月。カナカナの音が周囲に響く。秋が深くなると虫の合唱だ。夕刊を読み終えた僕は肩まで湯につかり、ヒゲを剃る、空を仰ぐ。悪くないネ。人生とは何か、人間の幸せとは何か。露天風呂の湯気と温かさがそれを垣間見せてくれるような気がする。

太陽光発電も露天風呂も手間と工夫と体力を必要とする。例えばソーラーパネルの設置は普通、既製品の架設台が売られている。僕はビニールトンネル、ビニールハウスに使う古いパイプを流用した。風呂を沸かし、煮炊きをするために二つの釜戸に使う薪はかなりの量で、伐採したものを林から運び出すのはハードだ。しかしカネを払ってジムに行くことを思えば楽しくやれる。ガスと電気。毎月節約できる金額

は合計七千円ほどだ。投資した金額が生きている間にペイされるかは疑問だ。しかし、省エネ・節約。それとは別に、注目すべきは、どうやらこれは大人の立派な遊びであるということだ。若い時代、僕はパチンコや麻雀に熱中した。いま振り返ればあの興奮はさしたることもなかったな。体にも悪かった。僕の「もうひとつの自給自足」はパチンコ・麻雀をはるかにしのぐ熱い興奮と心の健康を与えてくれている。



今 から六十年前、昭和三十年代初め、我がふるさとは電気が夜しか送られてこなかった。島という特性から文明に取り残されたのだ。ゆえに、本州から海底ケーブルが引かれ、昼間でもラジオが聴けるようになった時の感動は今も忘れがたい。それまでは日暮れにならないと電気はつかなかった。かつ、十一時には発電所からの送電が停止された。島にあったのは小さな火力発電所で、燃料を節約するためだったと思う。テレビ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機はもうろん扇風機さえもない時代だった。火力発電所からの送電がストップされた夜中、トイレに行く時の灯りはカンテラだった。カンテラの灯りは半分寝ぼけている子供の方向感覚を狂わ



せた。トイレの壁にはついている蜘蛛がカンテラに映し出される姿は恐怖であった。思えば「暗い時代」だった。それから六十年、僕は、そして多くの人は、すごく明るく、便利な時代を生きている。好きな時、好きなだけ電気が使えるのを当然と考えるようになった。畑仕事を終え、僕は夕餉の食卓につく。昼間の労働の疲れを、三十年前に死んだ父が飲んでいたのと同じ一合五勺の焼酎で毎夜癒す。そして酔う。焼酎の酔いとともに惜しみなく灯る部屋の明かりにも、僕は酔う。やっただ。太陽よ、ありがとSUN。明日もどうか晴天であつてくれ。太陽光発電のパネルがある方向にむかい、酔っ払った僕は胸の内での祈りと感謝を捧げる。……追記：パネルで発電した電気を連続的に使用するのには僕の場合は冷蔵庫だけ。パソコンやテレビは夜しか使わない。一方バッテリーは満充電になると電気の取り込みを停止するから、文句なしの快晴という日には無駄が生じる。そこでスロー・クッカーを三台購入した。消費電力は90ないし120W。四時間くらいかけてジャガイモが煮える、イチジクのジャムが出来る、ご飯が炊ける。太陽光発電の設置を考えている人は参考にされたい。



農業経営を志す人へ

～農業経営の発展過程と経営管理を考える～

第3回

解説

高田 武 (たかだ・たけし)

栃木県農業会議 嘱託職員

昭和54年4月に栃木県農業会議に就職し、農業者年金、農地法等の業務、農業法人協会等農業者組織の運営等を担当。特に、家族経営協定、複式農業簿記の記帳指導や税務指導、集落営農・女性起業の運営、農業経営の法人化・運営指導の分野に実践的な知見を有する。

著書

『よくわかる農家の青色申告』『農業者のための消費税の届け出から申告まで』『複式農業簿記実践テキスト』(以上、全国農業会議所) 他

参考図書



平成29年度版
よくわかる農家の青色申告

発行：(一社)全国農業会議所
定価：800円
規格：A4判・133頁

※お求めは、お住まいの都道府県の農業会議へご注文いただくか、全国農業図書
のHPからお申込みください。

全国農業図書 検索

農業経営の発展過程と経営管理

ステップ1 個人経営

☑ 経営と家計の未分離状態

(どんぶり勘定・白色申告・就業環境の未整備)

ステップ2 個人経営

☑ 経営と家計の分離の展開

(収支計算・青色申告・家族経営協定等就業条件の整備)

ステップ3 個人経営

☑ 経営と家計の分離の発展

(複式簿記・青色申告)

☑ 家族経営協定の実践

(部門・役割分担、給与制、休日制、労働保険・退職金等就業環境の充実、経営継承・相続対策の検討)

☑ 雇用の導入

(ゆとりある時間の確保、雇業者に対する経営者責任の自覚)

ステップ4 法人経営

(法人化よりよい経営・生活のための手段)

☑ 経営と家計の完全分離

☑ 家族経営協定の充実した実践

(法に基づく就業条件・環境の充実、部門・役割分担の明確化)

☑ 法人化のメリット確保

(経営継承・経営後継者の確保対策、経営多角化・規模拡大の優位性、雇用より優秀な人材の確保、経営哲学・経営戦略の構築、社会貢献)

☑ BigでGoodな経営

発展段階「ステップ3」 個人経営(経営と家計の分離の実践)

複式簿記記帳、家族経営協定の充実・就業環境の改善

経営と家計の分離の実践

青色申告は、1年間の会計期間が終了すると、簿記記帳結果から「青色申告決算書」(損益計算書や貸借対照表)を作成し、これらを基に所得税や消費税の「確定申告書」を作成し税務署に提出します。「確定申告書」は基本的には自分で作成します。

簿記記帳や青色申告を継続していくためには、個人で対応するのは心細いので、それぞれの地域環境に応じて、指導機関に相談しながら、農業経営者同士での取り組みや既存組織への加入を検討してください。

複式簿記の勧め

数字による経営把握を行うには、簿記記帳が欠かせませんが、単式簿記は主に農業経営の収益(収入)や費用(支出)の発生を記帳します。

複式簿記は、収益・費用の発生

と同時に、農業経営で所有する現金・預金、建物、農機具、果樹・牛馬などの資産、借入金などの負債の増減変化がもたれなく記帳されます。したがって、その時々現金・預金などの資産、負債の残高の現状把握とともに、資金・経営計画を立てやすくなります。

また、経営と家計とのやりとりや農業経営以外の取引を記帳しますので、経営と家計の分離を実践していくには複式簿記をお勧めします。

取り組む際の注意点として、青色申告決算書との連動および経営と家計の分離に留意した勘定科目の設定、いきなりパソコン簿記からではなく最初は帳簿式での簿記習得により複式簿記の原則を理解するように心がけてください。

複式簿記を記帳すると、次のような結果を得ることができます。

① 経営と家計のお金のやりとりを

「事業主貸」と「事業主借」の勘定を用いて記帳することで、農業経営で得た収益がどのくらい家計に回っているか、家計のお金をどのくらい経営で使っているかが分かります。このため、農業を経営という視点で把握できるようになります。

また、「事業主貸」と「事業主借」の勘定科目は、農業経営以外の収入や支出の取引にも使用します。

② 減価償却費や借入金などを含まれた1年間および長期の資金運用が理解できるようになります。

③ 資金繰り表や決算書の数字を分析することから、経営改善の方向が理解できるようになります。

④ 経営継承や法人化にあたっての資産・負債などの引き継ぎや貸借の仕方などの理解ができるようになります。

家族経営協定の充実

魅力ある農業を築いていくためには、家族の継続的な話し合いを前提に、経営改善、休日・労働時間、給与制や年金・退職金制度の導入、経営と家事の時間の分離など就業条件の改善などを環境の変化に合わせて取り決めし、実践を継続していくことです。

家族の中で「個」を尊重した配慮が求められます。

また、後継者の就業や結婚、経営移譲や相続などの大きな変化がある時に備えて普段から環境作りをしておくことが大切です。

年金や退職金の対応

現役世代では身近な問題と感じませんが、農業者の老後対策として構築されている「農業者年金制度」や事業主の退職金制度として「農業経営者も加入できる」「小規模企業共済制度」の加入を簿記記帳結果や確定申告書を基に検討して、経営主自身および家族の就業環境改善に役立ててください。これらは、節税にもつながりますので制度内容の理解を深めてください。

なお、家族の退職金制度は、法人化しないと対応できません。

雇用について
労働力不足、ゆとりのある経営、家族で補えない専門分野での補充など、雇用を確保することは重要な問題です。

大切なのは、求人にあたり、ハローワークで賃金・勤務時間・休日・労災保険・退職金など十分な就業条件を求人票に書き込める経営内容となっていることです。

常時雇用となれば雇業者の家族も含めて、雇用主として責任を果たさなければなりませんし、自分の家族に対しても同様に配慮できなければなりません。

経営者は、経営の発展に合わせ、雇用管理も重要になりますので、労務管理面も十分に行いましょう。



「とくしま漁業アカデミー」 平成30年度研修生 募集中!

徳島県で漁業を学べ、
就業のチャンスを得ることができる
「とくしま漁業アカデミー」の研修生を募集します。

ココがポイント!

- ① 海上実習、種苗生産、六次産業化などの多彩な講座
- ② 様々な漁業を体験し、目指す就業スタイルが決定できる「進路選択オリエンテーション」をはじめとする「オーダーメイド型」の実習や漁業に必要な資格取得を支援
- ③ 漁村に暮らしながら漁業が学べる「漁村滞在プラン」を準備
- ④ 「各種支援制度」により、「研修開始から漁業就業」まで、研修生を強力にサポート
- ⑤ 研修修了後は、さらなるレベルアップに向け、「漁業人材育成プログラム」に基づくフォローアップを実施



1 募集人数

7名程度

2 研修概要

- (1) 研修期間：原則1年間（平成30年4月から平成31年3月まで）
- (2) 研修内容：座学（30日程度）、現場実習（160日程度）、資格取得（10日程度）

3 募集期間

平成30年2月28日まで

4 応募資格

- (1) 平成30年4月1日現在で満18歳以上の者
- (2) 徳島県内の市町村に住居登録を行っている者、又は確実にを行う者
- (3) 研修修了後に徳島県内で漁業就業する者

5 選考方法

「書面審査」と「面接審査」の結果等を総合的に判断する選考審査を随時実施します。

6 応募手続

- (1) 応募に必要な書類
 - ① 受験申請書 ② 志望理由書
- (2) 「受験申請書・志望理由書」の入手方法
 - ① 「とくしま漁業アカデミー」のブログ (<http://tokushima-gyogyou-academy.blogspot.jp/>) 又は「徳島県ホームページ」からダウンロードしてください。
 - ② 「公益財団法人徳島県水産振興公害対策基金」、「徳島県水産振興課」に越しいたご、入手してください。
 - ③ 「公益財団法人徳島県水産振興公害対策基金」又は「徳島県水産振興課」に郵便で請求してください。

郵便で請求するときは、封筒に「受験申請書・志望理由書請求」と朱書きし、あて先を記入した返信用封筒（82円切手を貼ったもの）を必ず同封して、請求してください。
- (3) 「受験申請書・志望理由書」の提出方法

郵送又は持参により「公益財団法人徳島県水産振興公害対策基金」又は「徳島県水産振興課」まで申し込んでください。

郵送の場合は、封筒に「受験申請書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留郵便」により、送付（募集最終日の消印まで有効）してください。

持参の場合は、月曜日から金曜日（国民の祝日・休日を除く）の午前9時から午後5時までに提出してください。

7 研修期間中における支援制度

一定の要件を満たす方につきましては、研修期間中の生活資金として、月額12.5万円の給付を受けることができる「次世代人材投資（準備型）事業」が利用できます。

【書類の郵送又は持参先、及びお問合せ先】

〒770-0873

徳島県徳島市東沖洲2丁目13番地
公益財団法人 徳島県水産振興公害対策基金
電話：088-636-0526
ファクシミリ：088-636-0527

〒770-8570

徳島県徳島市万代町1丁目1番地
徳島県水産振興課 振興流通担当
電話：088-621-2472
ファクシミリ：088-621-2863
e-mail: suisanshinkouka@pref.tokushima.jp

公益財団法人 いしかわ農業総合支援機構

応援します☆
～いしかわの地であなたが思い描く農業～



最近、
農業が気になり
出した方へ

県外での就農相談

日程	会場	講座概要
12月9日(土)	ILAC 東京 (パソナグループ東京本社)	学生と若手農業経営者との意見交換会
2月2日(金)	ふるさと回帰センター東京	移住・就農に関するセミナー
3月17日(土)	ふるさと回帰センター大阪	移住・就農に関するセミナー

☆新・農業人フェア2017（大阪会場：1/27、東京会場：2/10）出展
☆JOIN 移住・交流地域おこしフェア（東京会場：1月21日）出展
☆石川県での就農や制度等のご相談は、お電話でも受け付けております。
お気軽にご相談下さい。

充実した研修制度

研修名	開催時期	期間	研修概要	おすすめの人
農業法人見学会	7、10月 ※今年度は開催終了	1日	バスで石川県内の農業法人等を見学、作業体験	普段お仕事をされている方など、週末に気軽に石川の農業について知りたい方
農業短期研修	随時受付	3～7日間	石川県内の農業法人等での職場体験や農業者との交流	移住就農に興味があり、石川県での暮らしを体験してみたい方
農業インターンシップ研修（短期・長期）	随時受付	10日～9ヵ月	石川県内の農業法人等で10日間の研修後、最長9ヵ月の長期研修への移行が可能	石川県での移住就農を検討しており、移住生活や自身の農業の適性について知りたい方

お問い合わせ

公益財団法人 いしかわ農業総合支援機構
☎ 076-225-7621 Mail: info@inz.or.jp

岩手県 一関市

君のチャレンジを全力で応援します
東北のど真ん中“いちのせき”

見て、ふれて、さわって、体験して、実感してください。
まずは、見てみることから始めませんか。
市内の新規就農者や移住者先輩方との
交流・ふれあいをとおして実感してください。
実感が感動に、そして感激……
モニターツアー、見学会、体験会、
交流会を開催しております。
ご連絡をお待ちしております。

就農から、住まい探しをはじめとした生活支援まで、
専門の支援員が直接あなたを最後までサポートします。

お問い合わせ・申し込み先

一関市役所農林部農政課

〒021-8501

岩手県一関市竹山町7番2号

☎ 0191-21-8421 FAX 0191-21-4221

E-mail manabusa@city.ichinoseki.iwate.jp

担当：農村定住・就農支援員

福島県

「国見町の農業は天恵なり」

農業従事者募集中!!

国見と一緒に
夢を叶えよう!!



福島県と国見町では、農業で地域を元気にしてくれる農業者を「地域おこし協力隊」として募集します。

農業からはじめる地域の活性化に
あなたのチャレンジをお待ちしています!!

福島県 企画調整部地域振興課

☎ 024-521-7114 (直通) FAX 024-521-7912

E-mail tiikishinkou@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025b/tiikishinkou-107.html>

お問い合わせ

農家の思いを伝え
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。

全国農業新聞は
地域農業者の代表機関である
農業委員会のネットワークが
発行する週刊の農業総合専門紙です。

全国農業新聞

週刊 月4回金曜日発行
月700円、年8,400円
(消費税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へ
お気軽に連絡ください。

■発行所
一般社団法人全国農業会議所
〒102-0084
東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2F
☎03-6910-1130 ☎03-3261-5132
✉gyoumu@nca.or.jp
<http://www.nca.or.jp/shinbun>

農業者の視点でお届けします

- 1 特徴のある週刊新聞> 解説に力点をあいたニュース報道と企画編集
- 2 時代に鋭く斬り込む> 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 3 経営に役立つ> 知っておきたい経営・流通情報と経営マインド
- 4 喜びや悩みを共感できる> 読者の心に訴え、ともに考える
- 5 読みやすく親しみやすい> 老若男女が楽しく読める

はじめてのパソコン農業簿記

改訂7版

ソリマチ(株)「農業簿記10」体験版CD-ROM付
ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記10」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。

図書コード: 28-43
定価: 2,880円
規格: A4判・163項



ニッポンの食と農 この10年

~命の糧を未来につなぐ~

著者は、子供を育てながらマスコミや講演活動など幅広い分野で活躍する見城美枝子氏。「未来につなげる日本の食と農のあり方」を見据え、応援メッセージ・提案にあふれた1冊となっています。

図書コード: 27-19
定価: 1,500円
規格: B6判・256頁



平成29年版

青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」や「困ったとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。

図書コード: 29-24
定価: 2,100円
規格: A4判・232頁



多視点型農業マーケティング

—6次産業化へのヒント77—

農業マーケティングの先駆者・平岡豊氏の「実践型農業マーケティング」の続編。「生産条件不利地域は品質条件有利地域」「産地間競争から産地間協調」等、経営や地域おこしのヒントが散りばめられています。

図書コード: 26-30
定価: 933円
規格: 新書判・197頁



農と食の明日を築く

全国農業図書

■お申し込みは都道府県農業会議へ

発行 一般社団法人 全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8

全国農業図書

検索



●地元に設置されているI・J・Uターン定住・相談窓口

(注) 定=定住情報、就=就職相談窓口

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
北海道	北海道移住・交流総合案内窓口	定		011(251)1055	札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7ビル4階
青森県	青森県企画政策部地域活力振興課移住・交流推進グループ	定		017(734)9174	青森市長島1-1-1
岩手県	定住・交流サポートセンター	定		019(629)5194	盛岡市内丸10-1 県庁地域振興室内
	(公財)ふるさといわて定住財団		就	019(653)8976	盛岡市大通3丁目2番8号 岩手県金属工業会館6階
	いわてU・Iターンサポートデスク		就	019(621)1171	盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階ジョブカフェいわて内
秋田県	(公財)秋田県ふるさと定住機構		就	018(826)1731	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3階
	NPO法人秋田移住定住総合支援センター	定		018(893)3981	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ1階
山形県	すまいる山形暮らし案内所	定		023(630)3083	山形市松波2-8-1 県庁内
福島県	ふるさと福島就職情報センター福島窓口		就	024(525)0047	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階
	福島県地域振興課	定		024(521)8023	福島市杉妻町2-16
栃木県	栃木県総合政策部地域振興課	定		028(623)2236	宇都宮市塙田1-1-20 県庁内
	とちぎジョブモール		就	028(623)3226	宇都宮市駅前通り1-3-1 KDX宇都宮ビル1階
群馬県	群馬県企画部地域政策課	定		027(226)2371	前橋市大手町1-1-1 県庁内
	ジョブカフェぐんま		就	027(330)4510	高崎市旭町34-5 旭町ビル3階
静岡県	“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター	定		054(221)2610	静岡市葵区追手町9-6 県庁西館6階静岡県くらし・環境部政策監内
愛知県	愛知県交流居住センター	定	就	052(232)1750	名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル5階
新潟県	新潟県U・Iターンコンシェルジュ新潟事務局	定	就	025(374)7410	新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストックビル鏡橋3階
富山県	富山くらし・しごと支援センター富山オフィス	定	就	076(431)3691	富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル8階(株)パソナ・富山内
石川県	いしかわ就職・定住総合サポートセンター	定	就	076(235)4540	金沢市石引4-17-1
	(公財)いしかわ農業総合支援機構		就	076(225)7621	金沢市鞍月2-20
福井県	ふるさと福井移住定住促進機構	定	就	0776(43)6295	福井市手寄1丁目4-1 アオッサ7階
長野県	長野県企画振興部地域振興課(信州暮らし案内人)	定		026(233)1794	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
	長野県産業労働部労働雇用課		就	026(235)7118	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
岐阜県	清流の国づくり政策課移住定住まちづくり室	定		058(272)8078	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁3階
三重県	おしごと広場みえ		就	059(222)3300	津市羽所町700 アスト津3階
	三重県地域連携部地域支援課	定		059(224)2420	津市広明町13
京都府	京の田舎ぐらし・ふるさとセンター	定		075(441)6624	京都市上京区出水通小路東入ル丁子風呂町104-2 府庁西別館2階
	京都ジョブパーク農林水産業コーナー		就	075(682)1800	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
	京都ジョブパークUIターンコーナー		就	075(682)8929	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場		就	078(360)6216	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 12階
奈良県	奈良県 県・市町村ワンストップ窓口	定		0744(48)3016	橿原市常盤町605-5 総合庁舎3階
	奈良しごとiセンター	定	就	0742(23)5730	奈良市西木辻町93-6 エルトピア奈良1階
和歌山県	和歌山県企画部地域振興局移住定住推進課	定		073(441)2930	和歌山市小松原通1-1
	和歌山県ふるさと定住センター	定		0735(78)0005	東牟婁郡古座川町直見212
	和歌山県農林大学校就農支援センター		就	0738(23)3488	御坊市塩屋町南塩屋724
	わかやま定住サポートセンター	定	就	073(422)6110	和歌山市本町1-22 Wajima本町ビル1階
鳥取県	(公財)ふるさと鳥取県定住機構	定	就	0857(50)0137	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
	鳥取県移住定住サポートセンター	定		0120(841)558	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
島根県	(公財)ふるさと島根定住財団	定	就	0852(28)0690	松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
岡山県	岡山県中山間・地域振興課	定		086(226)7862	岡山市北区内山下2-4-6 県庁8階
	岡山県労働雇用政策課		就	086(226)7599	岡山市北区内山下2-4-6 県庁7階
広島県	広島県地域力創造課	定		082(513)2581	広島市中区基町10-52 県庁南館2階
	広島県無料職業紹介所		就	082(513)3422	広島市中区基町10-52 県庁東館3階
山口県	やまぐち暮らし総合支援センター	定	就	083(976)0277	山口市小郡高砂町1-20
徳島県	とくしまジョブステーション		就	088(625)3190	徳島市寺島本町西1丁目61番地 徳島駅クレメントプラザ5階
香川県	香川県就職・移住支援センター	定	就	087(802)4800	高松市サンポート2-1 マリタイムプラザ高松2階
愛媛県	愛媛ふるさと暮らし応援センター	定		089(922)4110	松山市宮西1丁目5番19号 愛媛県商工会連合会館3階
	ふるさと愛媛Uターンセンター		就	089(913)8686	松山市湊町3丁目4番地6 松山銀天街GET!4階

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
高知県	高知県移住・交流コンシェルジュ	定	就	088(823)9336	高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁3階
	高知県事業承継・人材確保センター(U・Iターン就職支援室)		就	088(855)7748	高知市本町2-2-29 畑山ビル5階
佐賀県	さが移住サポートデスク	定	就	0952(25)7551	佐賀市城内1-1-59 新行政棟1階
長崎県	ながさき移住サポートセンター(長崎本部)	定	就	095(894)3581	長崎市江戸町2丁目13 県庁内
熊本県	熊本県企画振興部地域振興課	定		096(333)2135	熊本市中央区水前寺6-18-1
	熊本県U・Iターン就職支援センター熊本窓口		就	0120(827)867	熊本市中央区水道町8-6 朝日生命熊本ビル1階くまジョブ熊本県しごと相談・支援センター内
大分県	おおいた産業人財センター		就	0120(119)201	大分市中央町3-6-11 ガレリア竹町内
	おおいた暮らし相談窓口(大分)	定		097(506)2038	大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館3階
宮崎県	宮崎ひなた暮らしU・Iターンセンター宮崎本部	定	就	0985(27)3685	宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンソフィア壱番館「KITEN」3階みやざきJOBパーク+内
鹿児島県	鹿児島県企画部地域政策課	定		099(286)2424	鹿児島市鴨池新町10番1号

●全国の就職情報や関連情報を提供する窓口

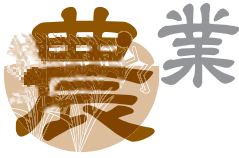
地方就職支援コーナー(地方や農林漁業に関する職業相談、就職紹介、求人情報等の提供(国の機関))	03(5419)8609	東京都港区芝5-35-3
まちむら交流きこう 広報情報センター部〔農林漁業体験の情報提供〕	03(4335)1982	東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階
移住・交流推進機構(JOIN)	03(3510)6581	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

●道県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口

(注) 農＝農業就業情報、林＝林業就業情報、漁＝漁業就業情報、定＝定住情報、求＝地元企業求人情報

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
北海道	北海道移住情報コーナー	農			定	求	011(204)5089	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 北海道東京事務所分室内
	北海道ふるさと移住定住推進センター「どさんこ交流テラス」	農	林	漁	定	求	090(1541)0011	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
青森県	あおもりUターン就職支援センター					求	03(3238)9990	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 青森県東京事務所内
	青森暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		090(6342)6194	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
岩手県	岩手県Uターンセンター	農			定	求	03(3524)8284	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
	いわて暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		080(8871)1741	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
宮城県	みやぎ移住サポートセンター(東京)	農	林	漁	定	求	03(6734)1344	東京都千代田区大手町2-6-2
	みやぎ暮らし相談センター	農	林	漁	定		090(1559)4714	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
秋田県	Aターンプラザ秋田				定	求	0120(122)255	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内
	あきたで暮らしそう! Aターンサポートセンター	農	林	漁	定	求	080(9292)5195	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山形県	山形県Uターン情報センター					求	03(5212)8996	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山形県東京事務所内
	やまがたハッピーライフ情報センター	農	林	漁	定	求	03(6269)9533	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
福島県	山形県大阪事務所	農				求	06(6341)6816	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前ビル第1ビル8階
	福が満開、福しま暮らし情報センター	農	林	漁	定		03(6551)2989	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
茨城県	いばらき暮らしサポートセンター	農	林		定		080(9552)5333	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	いばらき移住・就職相談センター	農	林		定	求	03(5212)9088	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 茨城県東京事務所内
栃木県	とちぎ暮らし・しごと支援センター	農	林		定		080(9502)5985	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
群馬県	ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」	農			定	求	03(3546)8511	東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー5/13 1・2階
	ぐんま暮らし支援センター	農	林		定	求	080(8870)2756	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
埼玉県	住むなら埼玉移住サポートセンター	農	林		定		090(1559)4781	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
神奈川県	ちょこっと田舎・かながわライフ支援センター	農		漁	定	求	070(4127)5905	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山梨県	やまなし暮らし支援センター	農	林		定	求	03(6273)4306	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまなしU・Iターン就職情報コーナー大阪	農	林			求	06(6344)5961	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内
富山県	富山暮らし・しごと支援センター 白山オフィス					求	0120(108)250	東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル5階
	富山暮らし・しごと支援センター 有楽町オフィス				定		080(8870)2456	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
石川県	いしかわ移住Uターン相談センター	農	林	漁	定	求	03(6734)1497	東京都千代田区大手町2-6-2 パソナグループ本部内
	いしかわ移住Uターン相談センター(ILAC東京)	農	林	漁	定	求	090(1541)8786	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
福井県	ふるさと福井移住定住促進機構 東京オフィス	農	林	漁	定	求	03(6273)4322	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	ふるさと福井移住定住促進機構 大阪オフィス	農	林	漁	定	求	06(6226)1688	大阪市中央区瓦町2-2-14 福井県大阪事務所内
長野県	長野県移住・交流センター	農	林		定	求	03(6274)6016	東京都中央区銀座5-6-5 NOCOビル4階
	信州に暮らし。楽園信州移住相談センター	農	林		定	求	080(7735)3992	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
岐阜県	清流の国ぎふ 移住・交流センター	農	林		定	求	080(7749)3317	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
三重県	ええとこやんか三重 移住相談センター	農	林	漁	定	求	080(9512)5093	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
新潟県	にいがたUターン情報センター	農	林	漁		求	03(5771)7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネスバス2階
	新潟県U・Iターンコンシェルジュ 東京事務局	農	林	漁	定	求	03(6734)1358	東京都千代田区大手町2-6-4 (株式会社パソナグループ本部内)
	にいがた移住支援デスク・コスモにいがた(表参道オフィス)	農	林	漁	定		03(3479)1415	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネスバス2階

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
静岡県	にいがた移住支援デスク・コスムにいがた (有楽町オフィス)	農	林	漁	定		090 (1657) 7263	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	静岡U・1ターン就職サポートセンター	農	林	漁	定	求	0800 (800) 6617	東京都品川区上大崎2-25-2 新目黒東急ビル6階 東海道沿線東京支店内
	“ふじのくにに住みかえる” 静岡県移住相談センター	農	林	漁	定	求	03 (6206) 3858	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
奈良県	静岡県移住支援センター	農	林	漁	定	求	080 (2125) 1591	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	奈良県ふるさと人材相談窓口 (奈良県東京事務所内)				定	求	03 (5212) 9098	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 奈良県東京事務所内
滋賀県	しがI J U相談センター	農	林	漁	定	求	090 (2730) 4793	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
京都府	京都府移住相談窓口 (東京)				定		080 (8504) 9734	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	京都府移住相談窓口 (大阪)				定		06 (4790) 3000	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階 大阪ふるさと暮らし情報センター内
和歌山県	和歌山県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9057	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所内
	わかやま定住サポートセンター (東京)				定		03 (6269) 9883	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大阪ふるさと暮らし情報センター				定		06 (4790) 3000	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階 大阪ふるさと暮らし情報センター内
鳥取県	鳥取県移住定住サポートセンター (東京)	農	林	漁	定	求	0120 (372) 315	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部内
	鳥取県移住定住サポートセンター (大阪)	農	林	漁	定	求	0120 (928) 480	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
島根県	とっとり暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		090 (1657) 7470	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー (東京)				定	求	0120 (60) 2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階 にほんばし島根館内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー (大阪)				定	求	0120 (70) 2357	大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階 島根県大阪事務所内
岡山県	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー (広島)	農	林	漁	定	求	082 (541) 2410	広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 東京ランチ					求	03 (5212) 9080	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 岡山県東京事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 大阪ランチ					求	06 (6131) 6390	大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル1階 岡山県大阪事務所内
広島県	おかやま晴れの国ぐらし	農	林	漁	定	求	090 (6344) 1948	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	東京ふるさと就職情報コーナー					求	03 (3580) 0851	東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 22階 広島県東京事務所内
	ひろしま暮らしサポートセンター	農	林	漁	定	求	080 (5873) 3296	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山口県	大阪ふるさと就職情報コーナー					求	06 (6345) 5821	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内
	やまぐち暮らし東京支援センター	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4887	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまぐち暮らし大阪支援センター	農	林	漁	定	求	06 (6341) 0755	大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪営業本部内
徳島県	徳島県東京本部徳島Uターンコーナー	農				求	03 (5212) 9022	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
	住んでみて徳島で! 移住相談センター				定		090 (7720) 7047	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
香川県	徳島県大阪本部徳島Uターンコーナー	農	林				06 (6251) 3273	大阪市中央区南船場3-9-10 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
	香川県東京人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9100	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 香川県東京事務所内
	うどん県・香川暮らし相談コーナー				定		080 (2125) 1634	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
愛媛県	香川県大阪人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	06 (6281) 1661	大阪市中央区東心斎橋1-18-24 クロスシティ心斎橋4階
	愛媛県東京事務所	農			定	求	03 (5212) 9071	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	愛媛ふるさと暮らし応援センター				定		080 (7749) 3244	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
高知県	愛媛県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6441) 2829	大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
	高知県東京事務所				定	求	03 (3501) 5541	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル7階
	高知県移住相談窓口	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4626	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
福岡県	高知県移住・交流コンシェルジュ (東京窓口)	農	林	漁	定	求	03 (3561) 8417	東京都中央区銀座1-3-13 The ORB Premiere (高知県アンテナショップ「まるごと高知地下1階」)
	高知県事業承継・人材確保センター					求	03 (6206) 1707	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル7階 高知県東京事務所内
	高知県大阪事務所				定		06 (6244) 4351	大阪市中央区本町2-6-8 センバセントラルビル1階
佐賀県	大阪ふるさと暮らし情報センター (毎月第4金土曜日出張相談窓口)	農	林	漁	定	求	088 (823) 9336	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階
	福岡県	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4048	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	佐賀県	さが移住サポートデスク (東京)				定	求	090 (1657) 8205
長崎県	ながさき移住サポートセンター	農	林	漁	定	求	080 (7735) 3852	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	長崎県大阪事務所					求	06 (6341) 0012	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
熊本県	くまもと移住定住支援センター	農	林	漁	定	求	080 (2125) 1656	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	熊本県大阪事務所	農					06 (6344) 3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
	大分県	大分県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (6862) 8787
大分県	おおいた暮らし相談窓口	農	林	漁	定	求	080 (7731) 8944	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大分県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6345) 0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
	大分県福岡事務所	農	林	漁	定	求	092 (721) 0041	福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階
宮崎県	宮崎県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9007	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階
	宮崎ひなた暮らしU・I・Jターンセンター	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4200	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	宮崎県大阪事務所	農			定	求	06 (6345) 7631	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
鹿児島県	宮崎県福岡事務所					求	092 (724) 6234	福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル8階
	鹿児島県ふるさと人材相談室 (東京)	農	林		定	求	03 (5212) 9062	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 鹿児島県東京事務所内
	かごしま「よかとこ」暮らし支援センター				定		080 (7731) 7915	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	鹿児島県ふるさと人材相談室 (大阪)	農			定	求	06 (6341) 5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内



●新規就業希望者の相談窓口

全国新規就農相談センター 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
 中央労働基準協会ビル2階 (一社) 全国農業会議所内
 TEL: 03 (6910) 1133 (相談用) <http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター	011 (271) 2255	(一社) 北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(公社) あおもり農林業支援センター	017 (773) 3131	(一社) 青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(公社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	(一社) 岩手県農業会議	019 (626) 8545 (直)
(公社) みやぎ農業振興公社	022 (275) 9192	(一社) 宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(公社) 秋田県農業公社	018 (893) 6212	(一社) 秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(公財) やまがた農業支援センター	023 (641) 1117	(一社) 山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(公財) 福島県農業振興公社	024 (521) 9848	(一社) 福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(公社) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	(一社) 茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(公財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9511	(一社) 栃木県農業会議	028 (648) 7270 (直)
(公財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	(一社) 群馬県農業会議	027 (280) 6171 (直)
(公社) 埼玉県農林公社	048 (558) 3555	(一社) 埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(公社) 千葉県園芸協会	043 (223) 3008	(一社) 千葉県農業会議	043 (223) 4480 (直)
(公財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	(一社) 東京都農業会議	03 (3370) 7145 (直)
神奈川県立かながわ農業アカデミー	046 (238) 5274	(一社) 神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(公財) 山梨県農業振興公社	055 (223) 5747	(一社) 山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(一社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	(一社) 岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (直)
(公社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	(一社) 静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
(公財) 愛知県農業振興基金	052 (951) 3626	(一社) 愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(公財) 三重県農林水産支援センター	0598 (48) 1226	(一社) 三重県農業会議	059 (213) 2022 (代)
(公社) 新潟県農林公社 青年農業者等育成センター	025 (281) 3480	(一社) 新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(公社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	(一社) 富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(公財) いしかわ農業総合支援機構	076 (225) 7621	(一社) 石川県農業会議	076 (240) 0540 (直)
(公社) ふくい農林水産支援センター	0776 (21) 8311	(一社) 福井県農業会議	0776 (21) 8234 (直)
(公社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	(一社) 長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	077 (523) 5505	(一社) 滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(公社) 京都府農業総合支援センター	075 (417) 6847	(一社) 京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
大阪府就農相談窓口	06 (6210) 9596	(一社) 大阪府農業会議	06 (6941) 2701 (直)
(公社) 兵庫みどり公社	078 (361) 8114	(一社) 兵庫県農業会議(ひょうご就農支援センター)	078 (391) 1221 (代)
(公財) なら担い手・農地サポートセンター	0744 (21) 5020	(一社) 奈良県農業会議	0742 (22) 1101 (代)
(公財) 和歌山県農業公社	073 (432) 6115	(一社) 和歌山県農業会議	073 (432) 6114 (直)
(公財) 鳥取県農業農村担い手育成機構	0857 (26) 8349	(一社) 鳥取県農業会議	0857 (26) 8371 (直)
(公財) しまね農業振興公社	0852 (20) 2870	(一社) 島根県農業会議	0852 (22) 4471 (直)
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	(一社) 岡山県農業会議	086 (234) 1093 (直)
広島県農業担い手支援課	082 (513) 3551	(一社) 広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(公財) やまぐち農林振興公社	083 (924) 8100	(一社) 山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(公財) 徳島県農業開発公社	088 (621) 3083	(一社) 徳島県農業会議	088 (678) 5611 (直)
(公財) 香川県農地機構	087 (831) 3211	(一社) 香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(公財) えひめ農林漁業振興機構	089 (945) 1542	(一社) 愛媛県農業会議	089 (943) 2800 (直)
(公財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	(一社) 高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(公財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	(一社) 福岡県農業会議	092 (711) 5070 (直)
(公社) 佐賀県農業公社	0952 (26) 9503	(一社) 佐賀県農業会議	0952 (20) 1810 (直)
(公財) 長崎県農林水産担い手育成基金	0957 (25) 0031	(一社) 長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(公財) 熊本県農業公社	096 (385) 2679	(一社) 熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(公社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	(一社) 大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(公社) 宮崎県農業振興公社	0985 (51) 2011	(一社) 宮崎県農業会議	0985 (73) 9211 (直)
(公社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7223	(一社) 鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(公財) 沖縄県農業振興公社	098 (882) 6801	(一社) 沖縄県農業会議	098 (889) 6027 (直)



●新規就業希望者の相談窓口
 一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13
 三会堂ビル
 TEL : 03 (5545) 1617
<http://www.ryoushi.jp/>



●新規就業希望者の相談窓口
 林業労働力確保支援全国センター
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12
 コービル 全国森林組合連合会内
 TEL : 03 (3294) 9713
<http://www.nw-mori.or.jp/>

●沖合・遠洋漁業

(一社) 全国漁業就業者確保育成センター	03 (5545) 1617
----------------------	----------------

●沿岸漁業

地域	都道府県別相談窓口	電話番号
北海道	北海道漁業就業支援協議会	011 (280) 3007
東北	青森県漁業協同組合連合会	017 (722) 4218
	岩手県漁業協同組合連合会	019 (626) 8082
	宮城県漁業就業者支援協議会	0225 (21) 5740
	秋田県漁業協同組合	018 (845) 1311
	山形県漁業協同組合	0234 (24) 5612
	茨城県漁業就業支援協議会	029 (301) 4075
関東	千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	043 (242) 6858
	東京都漁業協同組合連合会	03 (3458) 4161
	神奈川県漁業協同組合連合会	045 (773) 8877
北陸	新潟県漁業協同組合連合会	025 (243) 3681
	富山県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	076 (441) 6115
	石川県漁業協同組合	076 (234) 8818
中部	福井県漁業協同組合連合会	0776 (24) 1203
	静岡県漁業協同組合連合会	054 (254) 6011
	愛知県漁業協同組合連合会	052 (971) 3501
近畿	三重県漁業協同組合連合会	059 (228) 1205
	大阪府漁業協同組合連合会	072 (422) 4763
	滋賀県漁業協同組合連合会	077 (524) 2418
中国	京都府漁業協同組合	0773 (77) 2200
	和歌山県漁業協同組合連合会	073 (431) 5101
	兵庫県漁業協同組合連合会	078 (940) 8013
四国	鳥取県漁業協同組合	0857 (28) 0111
	漁業協同組合 JF しまね	0852 (21) 0001
	島根県漁業担い手確保・育成支援協議会	08514 (2) 1832
九州	広島県漁業協同組合連合会	082 (278) 5588
	山口県漁業協同組合	083 (231) 2212
	徳島県漁業協同組合連合会	088 (636) 0500
	香川県漁業協同組合連合会	087 (851) 0351
	えひめ漁業担い手確保促進協議会	089 (933) 5127
	高知県漁業協同組合	088 (854) 3600
	福岡県漁業協同組合連合会	092 (713) 1162
	佐賀県漁業就業者支援協議会	0955 (58) 8015
	長崎県漁業協同組合連合会	095 (829) 2413
	熊本県漁業協同組合連合会	096 (329) 8800
	大分県漁業協同組合	097 (532) 6611
	宮崎県漁村活性化推進機構	0985 (75) 0022
	鹿児島県漁業協同組合連合会	099 (813) 0026
	沖縄県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	098 (860) 2600

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター等	電話番号
北海道	北海道森林整備担い手支援センター	011 (200) 1381
青森県	青森県林業労働力確保支援センター	017 (732) 5288
岩手県	岩手県林業労働力確保支援センター	019 (653) 0306
宮城県	宮城県林業労働力確保支援センター	022 (217) 4307
秋田県	秋田県林業労働力確保支援センター	018 (864) 0161
山形県	山形県林業労働力確保支援センター	023 (688) 6633
福島県	福島県林業労働力確保支援センター	024 (521) 3270
茨城県	茨城県林業労働力確保支援センター	029 (225) 5949
栃木県	栃木県林業労働力確保支援センター	028 (624) 3710
群馬県	群馬県林業労働力確保支援センター	027 (386) 5901
埼玉県	埼玉県林業労働力確保支援センター	0494 (25) 0291
千葉県	千葉県林業労働力確保支援センター	0438 (60) 1521
東京都	東京都林業労働力確保支援センター	042 (528) 0643
神奈川県	神奈川県森林組合連合会	0463 (88) 3310
新潟県	新潟県林業労働力確保支援センター	025 (285) 7712
富山県	富山県林業労働力確保支援センター	076 (441) 6747
石川県	石川県林業労働力確保支援センター	076 (237) 0121
福井県	福井県森林整備支援センター	0776 (38) 0345
山梨県	山梨県林業労働センター	055 (242) 6667
長野県	長野県林業労働力確保支援センター	026 (225) 6080
岐阜県	岐阜県林業労働力確保支援センター	0575 (33) 4011
静岡県	静岡県林業労働力確保支援センター	054 (255) 4485
愛知県	愛知県林業労働力確保支援センター	052 (953) 3608
三重県	三重県林業労働力確保支援センター	0598 (48) 1227
滋賀県	滋賀県林業労働力確保支援センター	077 (522) 0307
京都府	京都府林業労働力確保支援センター	075 (821) 9277
大阪府	大阪府林業労働力確保支援センター	06 (6538) 7524
兵庫県	兵庫県林業労働力確保支援センター	078 (361) 8010
奈良県	奈良県林業労働力確保支援センター	0742 (24) 2133
和歌山県	わかやま林業労働力確保支援センター	0739 (83) 2022
鳥取県	鳥取県林業労働力確保支援センター	0857 (28) 0123
島根県	島根県林業労働力確保支援センター	0852 (32) 0253
岡山県	岡山県林業労働力確保支援センター	086 (225) 9382
広島県	広島県林業労働力確保支援センター	0826 (72) 7833
山口県	山口県森林整備支援センター	083 (932) 5286
徳島県	徳島県林業労働力確保支援センター	088 (676) 2200
香川県	香川県林業労働力確保支援センター	087 (861) 4353
愛媛県	愛媛県林業労働力確保支援センター	089 (934) 6153
高知県	高知県林業労働力確保支援センター	0887 (57) 0366
福岡県	福岡県林業労働力確保支援センター	092 (712) 1443
佐賀県	佐賀県林業労働力確保支援センター	0952 (25) 7133
長崎県	長崎県林業労働力確保支援センター	0957 (25) 0184
熊本県	熊本県林業労働力確保支援センター	096 (340) 1151
大分県	大分県林業労働力確保支援センター	097 (546) 3009
宮崎県	宮崎県林業労働力確保支援センター	0985 (29) 6008
鹿児島県	鹿児島県林業労働力確保支援センター	0995 (54) 3131
沖縄県	沖縄県林業労働力確保支援センター	098 (987) 1804



日本一の
おんせん県おおいた
味力も満載

おんせん県おおいたで 農業しよう

就農学校・

研修制度が充実しています… **ファーマーズスクール**

就農時に苦勞する3つの大きな壁（農業技術、農地・住宅、資金）を、
大分県独自の地域主体の研修制度（就農学校・ファーマーズスクール）で全力サポート！

- ① 栽培技術 → 適地適作でしっかり研修！！
- ② 農地・住宅 → 就農する市町・JA 等がお世話！！
- ③ 資金 → 県や市の助成制度が充実！！

※就農する市町での研修が、研修中に培った人脈・技術を活かします

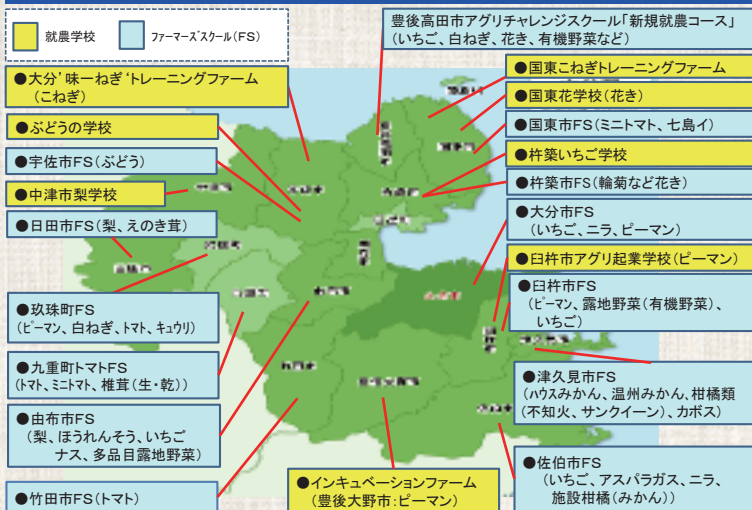
H22～H28の研修生数

合計 129 名 (UIJ ターン者 69 名)

50%以上が県外からの UIJ ターン者
※多くの先輩移住者がいます！



「就農学校」・「ファーマーズスクール」の整備状況 (H29.9.1現在)



研修施設の相談会に参加し、情報収集を開始しよう！

おんせん県おおいた就農応援フェア (大阪会場)

新規就農者の体験談発表のセミナーと、研修機関の就農個別相談を行います。

※農業法人への就職も専門スタッフがお答えします。

・平成 30年2月4日 (日) 12:00～16:00 大阪マーチャンダイズマート

1 day 農業体験・就農セミナー in 神戸

兵庫県の農業法人「キャルフาร์ม神戸」での農業体験と、大分県の就農セミナーを行います。

・平成 30年1月21日 (日) 10:00～16:00 兵庫県神戸市 キャルフาร์ม神戸

新・農業人フェアにも参加します

・東京：平成 30年2月10日 (土) 池袋サンシャインシティ ・大阪：平成 30年1月27日 (土) 大阪 OMM



大分県新規就業・経営体支援課

公益社団法人 大分県農業農村振興公社

☎ 097-506-3586

☎ 097-535-0400